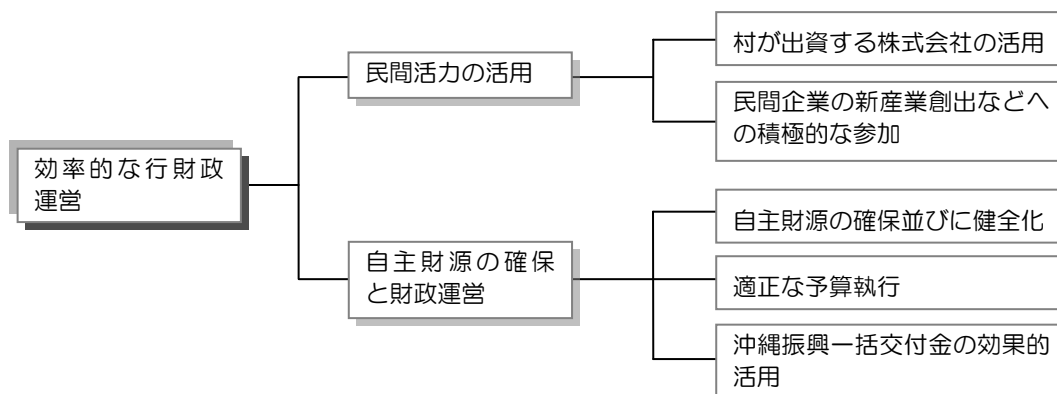


施策の体系



基本データ

■経費節減等の財政効果

単位: 百万円

項 目		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		合計		達成度		
		計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額	計画額	実績額			
歳入	超過課税の実施、法定外税新設															
	税の徴収対策			1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	100.0%		
	使用料・手数料の見直し															
	未利用財産の売り払い等															
	その他															
	計			1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	100.0%		
歳出	人件費削減	職員削減	職員削減	6	6	18	18	18	18	18	18	24	24	84	84	100.0%
			うち退職者の不補充													
			うち嘱託職員等の活用を除いた分													
		給与等削減	職員	給料												
				手当			1	1	1	1	1	1	1	4	4	100.0%
			三役等特別職	給料			1	1	1	1	1	1	1	4	4	100.0%
				手当												
			議員	給料			1	1	1	1	1	1	1	4	4	100.0%
			手当													
			計	6	6	21	21	21	21	21	21	27	27	96	96	100.0%
		その他														
		小 計	6	6	21	21	21	21	21	21	27	27	96	96	100.0%	
		組織の統廃合														
		民間委託による事務事業費削減														
		うち指定管理者制度導入によるもの														
		施設等維持費の見直し														
		補助金等の整理合理化			2	0	6	0	6	1	6	1	20	2	10.0%	
		内部管理経費の見直し	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	10	10	100.0%	
		その他事務事業の整理合理化	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	15	15	100.0%	
		その他			5	0	5	3	5	3	5	3	20	9	45.0%	
		計	5	5	12	5	16	8	16	9	16	9	65	36	55.4%	
	合 計	11	11	33	26	37	29	37	30	43	36	161	132	82.0%		
	投資的経費の見直し															
	再 計	11	11	33	26	37	29	37	30	43	36	161	132	82.0%		

資料: 北大東村企画財政課

3.3 雄大な自然と時間を共有できる交流の島

(1) 交通(空・海)の充実

現況と課題

- a. 本村において、人材や物資の交流の障害となるのが、交通・物流の様々な制約です。
- b. 航空輸送は、39 席の航空機で一日一往復で運航しており、輸送量に限界があるとともに、旅客、貨物いずれも高コストになっています。
- c. 海上輸送については、船舶の借上げ費用の負担が大きいため、貨物料金等の高く設定されています。
- d. 農林水産物の輸送コストが商品価格を押し上げて市場競争力を低下させたり、生活物資の輸送コスト増により、消費財の物価が上がり、家計を圧迫しています。
- e. 定期船については、運航が天候に左右され、欠航が発生するリスクについても考慮する必要があります。

施策の展開

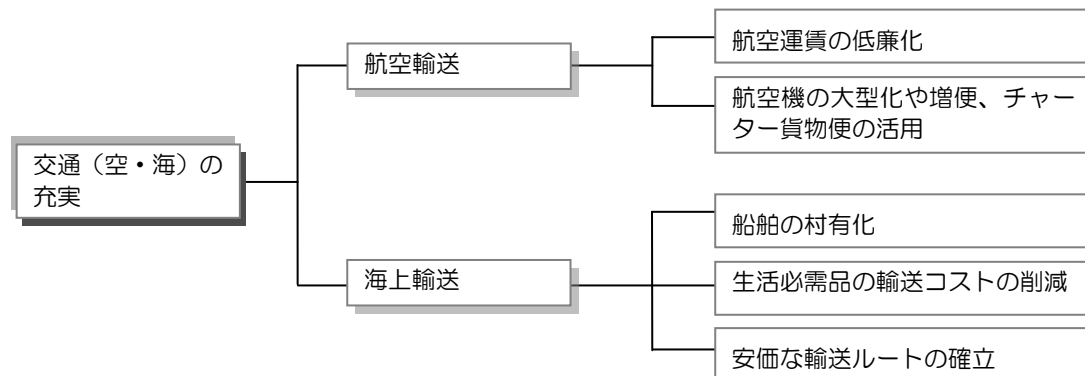
① 航空輸送

- a. 航空輸送については、航空運賃の低廉化を推進します。
- b. 産業振興の進捗に応じて、航空機の大型化や増便、チャーター貨物便の活用などの方策を検討するなど、関係機関への働きかけを推進します。

② 海上輸送

- a. 海上輸送については、船舶の村有化（南大東村との共有）を推進します。
- b. 農林水産資源の出荷や生活必需品の輸送コストの削減を推進します。
- c. 農林水産資源の島外への出荷については、安価な輸送ルートの確立を図ります。

施策の体系



基本データ

■航空輸送実績

平成23年11月1日現在

航空路線	輸送実績					航空運賃 大人片道(円)	運航距離 (km)	機種	所要 時間	運航便数
		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度					
那覇～北大東	旅客(人)	9,693	10,320	11,080	10,956	24,900	417	DHC-8	70	3.5/週
	貨物(kg)	38,268	83,332	76,346	69,419					
那覇～南大東	旅客(人)	24,265	25,608	27,881	28,848	24,900	414	DHC-8	70	1/日 3.5/週
	貨物(kg)	89,645	235,981	251,964	209,217					
南大東～北大東	旅客(人)	9,230	9,615	10,098	10,210	8,300	62	DHC-8	10	3.5/週
	貨物(kg)	36,736	73,378	69,621	61,192					

資料:企画部 交通政策課

■航路現況

航路	航路距離 (km)	片道 所要時間	運航回数	使用船舶明細					
				船名	進水年月	総トン数 (G/T)	旅客 定員	乗務 員	貨物掲載 能力(トン)
那覇(泊) ～南北大東	405	13時間30分	75/年	だいとう	平成23年2月	690	55	15	1,000

資料:沖縄県総合事務局運輸部「運輸要覧(平成23年12月)」

■航路輸送量実績

	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
運航回数	63.5	67.5	67.5	72.0	75.0
旅客(人)	2,749.5	2,946.0	3,869.5	1,579.5	4,237.5
旅客輸送人キロ	1,004,197.5	1,193,130.0	1,567,147.5	639,697.5	1,716,187.5
郵便物(個)	3,010	4,980	4,638	8,719	12,100
貨物(トン)	31,250.0	39,624.0	42,114.3	53,887.5	54,970.4

資料:沖縄県総合事務局運輸部「運輸要覧(平成23年12月)」

(2) 島出身・経験者との交流

現況と課題

- a. 本村は、村民のみならず、島の出身者や教員をはじめとした勤務経験者の方にとっても「故郷」として思いを寄せる場所になっています。
- b. 2010 年から島出身の方の組織である「北大東村郷友会」の活動が開始され、日ごろの諸活動並びに、「郷友会総会」や「友好の集い」等の行事を通じて、島出身者同士、更には、島民の方とのネットワークの構築が進んでいます。
- c. 島を離れることも達が孤立せず、立派に育てていくためのサポート体制や情報交換など交流を推進することが必要です。
- d. 郷友会を通じて、勤務経験者、北大東村ファンの方との更なる交流、連携等、体制づくりにについても、推進することが必要です。

施策の展開

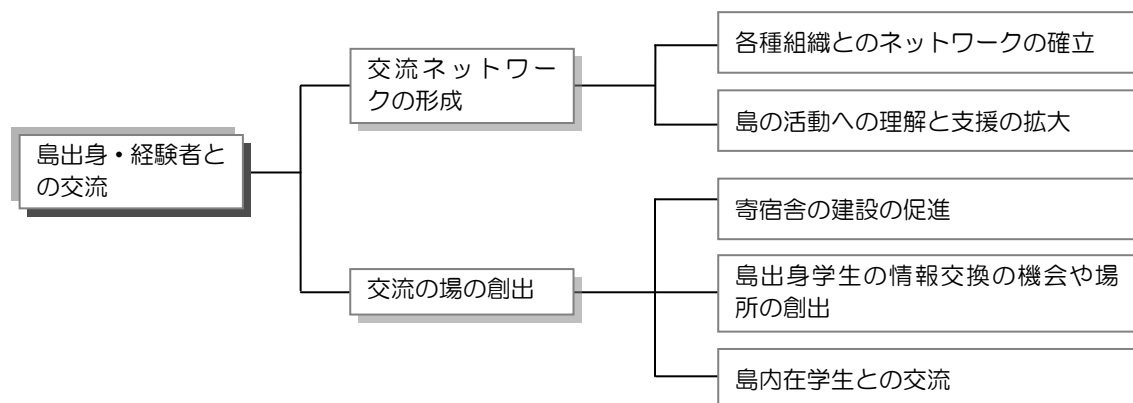
① 交流ネットワークの形成

- a. 郷友会をはじめとして、島出身者や勤務経験者 OB、北大東村ファンのネットワークの確立を推進します。
- b. 村が「ふるさとケータイ創出推進事業」により整備したメールマガジンをはじめ、各種情報ネットワークを活用し、特産品や観光商品の開発・販売、行事の実施、スポーツの試合、大東太鼓の公演などの情報を積極的に発信し、島の活動への理解と支援の拡大を図ります。

② 交流の場の創出

- a. 本島への寄宿舍の建設を促進します。
- b. 島出身の高校生や大学生がお互いに情報を交換することができる機会や場所を積極的に設けます。
- c. バトミントンや大東太鼓等のスポーツ、伝統芸能を通じて、島内の在学生との交流も推進します。

施策の体系



(3) 経済的な交流

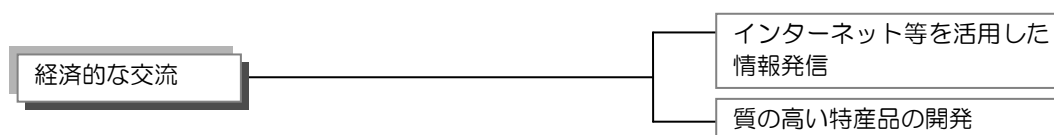
現況と課題

- a. 観光及びビジネスで訪れた方や北大東村の特産品を購入し、北大東村を好きになって頂いた、北大東サポーターの方を増やしていくなど、長い縁を結んで交流を深めていくことが重要です。
- b. 気軽に北大東村に触れることができるためにも、来島の機会増加につながる対応をはじめ、ネット等活用し、気軽に特産品等を購入できるシステムづくりを図ることが必要です。
- c. 本島、県外のみならず、海外を含めた、北大東村サポーターとのネットワークの構築が必要です。
- d. そのためにも、新たな特産品の開発も含めて、PR することが必要となります。

施策の展開

- a. 村ホームページや特産品関連のホームページの充実を図るとともに、村発信のメールマガジン等の周知を図り、インターネット等を活用した情報発信を推進します。
- b. 大東月桃、ドロマイト、マグロ、サワラなどの海産物、さとうきび、かぼちゃ、じゃがいもなどの農産物など、村特有の資源を活用した質の高い特産品の開発を図ります。

施策の体系



(4) スポーツ・文化による交流

現況と課題

- a. 本村には、八丈太鼓を起源とする伝統芸能「大東太鼓」があり、こども達の健全育成の場となるとともに、各地で公演の要請を受けるなど、村を代表する芸能に成長しています。
- b. 本村では、バトミントンや大東太鼓など、こども達が関わるスポーツや伝統芸能等を積極的にサポート、支援しています。
- c. こうしたスポーツ、伝統芸能活動は、就学の為に島を離れ、社会に出ていく際に、自立するために必要な経験と自信が得られる重要な活動となっています。
- d. スポーツや文化的な活動は、島を訪れる都会の人々や観光客との交流の機会を持つことのできる貴重な場となります。
- e. スポーツや伝統芸能を通じて、各種交流を推進していくためには、宿泊など受け入れのための機能の確保を図る必要があります。
- f. 「大東リズム」プロジェクトを実施し、国境を越えて活躍するアーティスト等と交流し、指導者の人材育成等を進めています。
- g. 文化を軸とした交流の資源として、燐鉱石貯蔵庫跡などの国の登録文化財があります。
- h. 燐鉱石貯蔵庫跡等については、厳しい自然環境の中、劣化は進んでおり、保全対策並びに跡地利用等が望まれています。

施策の展開

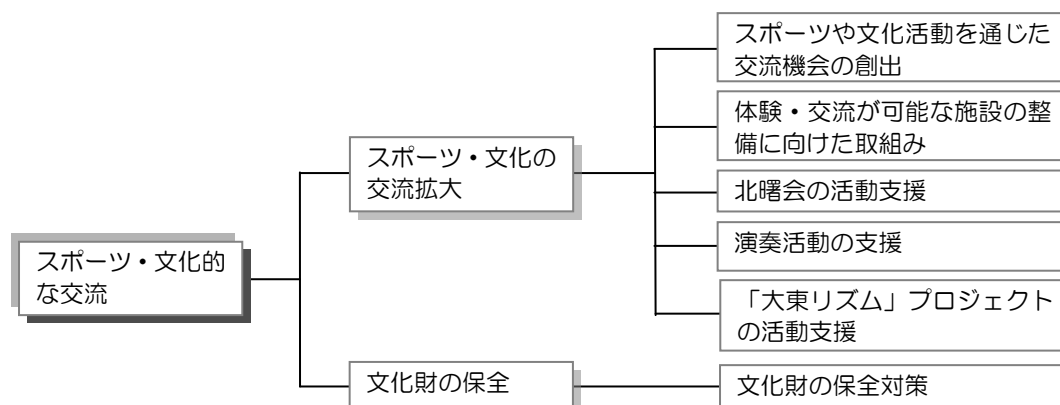
① スポーツ・文化の交流拡大

- a. バドミントンの試合や大東太鼓の演奏など、スポーツや文化活動を通じて、こども達が他の地域に遠征し、多様な体験を得られるように、交流機会の創出や遠征の支援を推進します。
- b. こども達が熱心に取り組んでいるスポーツや音楽を中心に都市農村交流を活発化するため、宿泊、スポーツ・音楽の体験・交流が可能な施設の整備に向けた取組みを推進します。
- c. 大東太鼓の技の継承や演奏機会の活動が円滑に進むように、北曙会の活動支援を推進します。
- d. 沖縄本島で高校、大学生活を送るOBメンバーが太鼓を練習できる場所を確保し、現役メンバーとの交流やOBメンバーによる演奏活動ができるように支援します。
- e. 「大東リズム」プロジェクトの活動支援を継続して推進します。

② 文化財の保全

- a. 燐鉱石貯蔵庫跡などの文化財の保全に必要な調査など、保全対策の実施に向けた取組みを推進します。

施策の体系



(5) 人材・技術の交流

現況と課題

- a. 村の発展並びに可能性を広げるために、人材育成並びに人材交流は不可欠です。
- b. 農業、水産業、観光などに従事する村民や役場の職員が、知識、技術を高めていけるよう、研修などの機会を確保する必要があります。
- c. 本村だけで、必要な人材を確保することは困難であり、専門の人材の支援が必要です。
- d. 厳しい自然環境や社会条件に置かれている本村では、新たな知見を導入しなければ解決できない課題も山積しており、大学などの研究機関との関係の構築も必要となります。

施策の展開

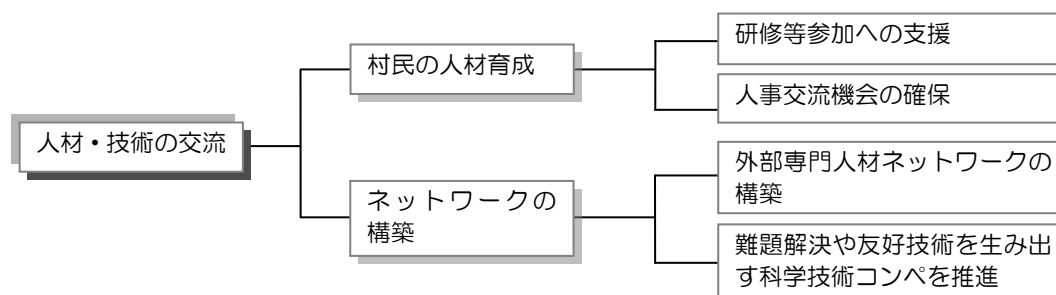
① 村民の人材育成

- a. 村民や役場の職員が、知識、技術を高めるために研修等の参加への支援を推進します。
- b. 他の地域の企業や公的機関との人事交流機会の確保を推進します。

② ネットワークの構築

- a. 産業振興、生活サービスの充実、自然や文化の保護・育成など、専門人材が北大東村を来訪する機会を生み出し、外部専門人材ネットワークの構築を図ります。
- b. 不法船舶の監視システム、廃棄物処理施設の汚染水の処理など、北大東村における難題を解決や、村の生活にとっても有効な技術を生み出す研究開発について、村が大学等の研究者に資金を提供する科学技術コンペを推進します。

施策の体系



(6) 情報の交流

現況と課題

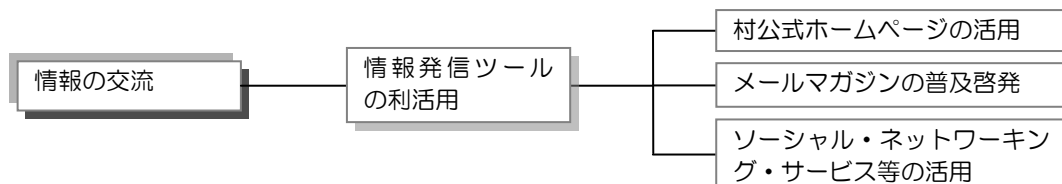
- a. 島外への情報発信の主となる村公式ホームページのさらなる充実が必要です。
- b. 村では、ふるさとケータイ創出推進事業により島出身の方や島を訪れて北大東ファンになって頂いた方への情報発信ツールとしてメールマガジンを配信しており、各種行事やマグロの水揚げ状況等情報を発信しています。
- c. ソーシャル・ネットワーキング・サービス（フェイスブック等）の活用やFMなのは「しまのたね通信」を活用し情報発信をしています。

施策の展開

① 情報発信ツールの利活用

- a. 島の魅力や行事、さらには特産品などの情報を充実させ、村公式ホームページの活用を図ります。
- b. ふるさとケータイ創出推進事業により構築したメールマガジンの普及啓発を各機関（宿泊施設、観光施設等）と連携し推進します。
- c. 各種ソーシャル・ネットワーキング・サービス（フェイスブック等）等を活用し島内外への情報発信を図ります。

施策の体系



資 料 編

北大東村総合計画策定に向けたスケジュール

実 施 日	内 容	対 象
平成 23 年 12 月 2 日（金）	若手職員ワークショップ	役場若手職員
	職員ヒアリング	各課課長
平成 23 年 12 月 3 日（土）	村長ヒアリング	村長
平成 24 年 2 月 9 日（木）	関係団体ヒアリング	①JA
		②青年会
		③北大東製糖株式会社
平成 24 年 2 月 10 日（金）	関係団体ヒアリング	④漁協
	第1回審議委員会	審議委員
平成 24 年 2 月 11 日（土）	関係団体ヒアリング	⑤与儀組
平成 24 年 3 月 8 日（木）	農村振興総合整備実施計画 ヒアリング	碧コンサルタント
平成 24 年 3 月 12 日（月）	福祉計画ヒアリング	沖縄計画機構、ティンアーキテクツ
平成 24 年 3 月 15 日（木）	郷友会ヒアリング	北大東村郷友会
平成 24 年 4 月 17 日～4 月 27 日	住民アンケート実施	中学生以上の全村民
平成 24 年 7 月 6 日（金）	第1回庁内調整会議	各課課長
	関係課ヒアリング	総務課
		福祉衛生課
		企画財政課
		経済課・建設課
		教育委員会
	第1回住民ワークショップ	地域住民
平成 24 年 7 月 7 日（土）	第2回審議委員会	審議委員
	第2回住民ワークショップ	地域住民
平成 24 年 10 月 26 日（金）	第2回庁内調整会議	各課課長
平成 24 年 10 月 27 日（土）	第3回審議委員会	審議委員

1. 住民アンケート結果

(1) 住民アンケート実施要領

- ①調査対象： 中学生以上の全村民
- ②調査期間：平成 24 年 4 月 17 日～平成 24 年 4 月 27 日
- ③配布数：400 件
- ④回収率：82.0%（回収数：328 件）

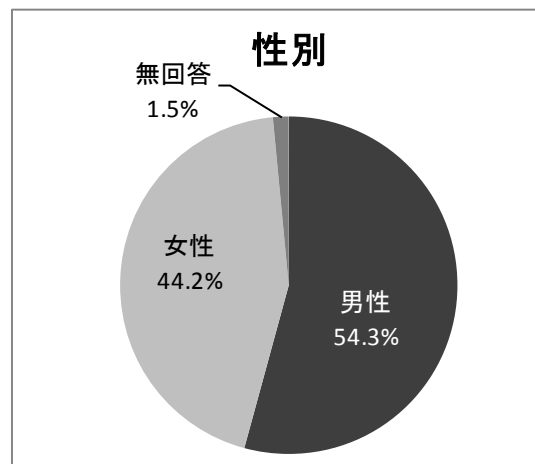
(2) アンケート調査結果

I. あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別はどちらですか。

回答者の性別は男性 54.3%、女性が 44.2%となっています。

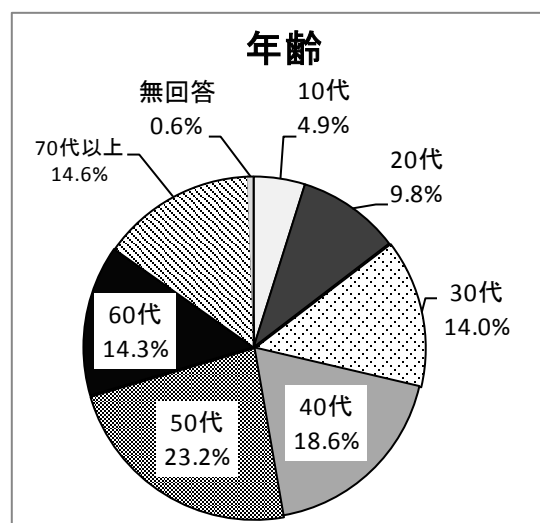
		票	%
1	男性	178	54.3%
2	女性	145	44.2%
3	無回答	5	1.5%
	合計	328	100.0%



問2 あなたの年齢は次のどれですか。

回答者の年齢を見ると、50代以上が最も多く 23.2%となり、次いで、40代が 18.6%、70代以上が 14.6%となっています。

		票	%
1	10代	16	4.9%
2	20代	32	9.8%
3	30代	46	14.0%
4	40代	61	18.6%
5	50代	76	23.2%
6	60代	47	14.3%
7	70代以上	48	14.6%
8	無回答	2	0.6%
	合計	328	100.0%

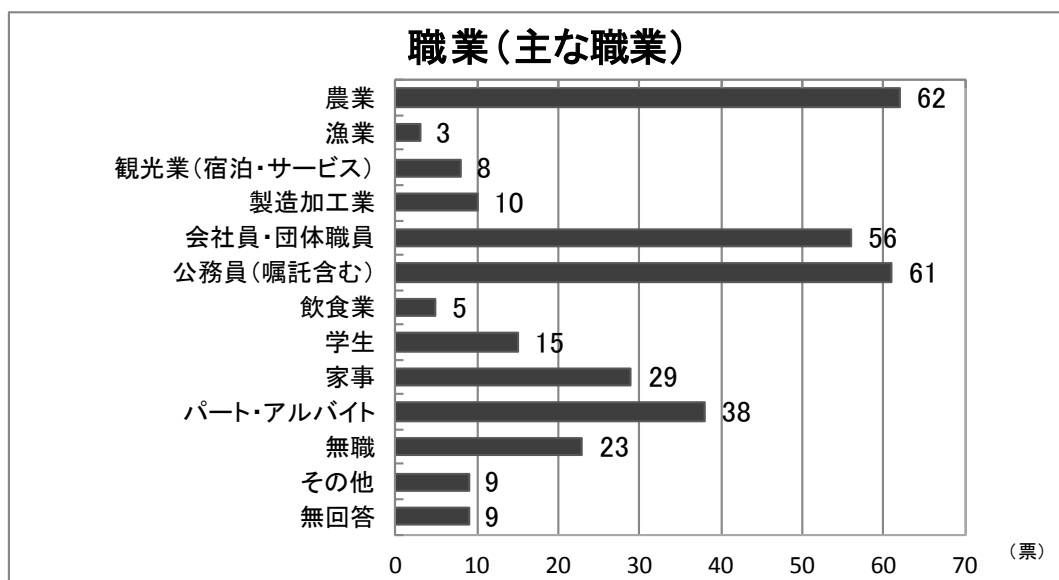


問3 あなたの主な職業および副業は次のうちどれですか

【主な職業】

回答者の主な職業をみると、「農業」及び「公務員（嘱託含む）」がともに 61 票（18.8%）と最も多く、次いで、「会社員・団体職員」が 56 票（17.1%）、「パート・アルバイト」が 38 票（11.6%）となっています。

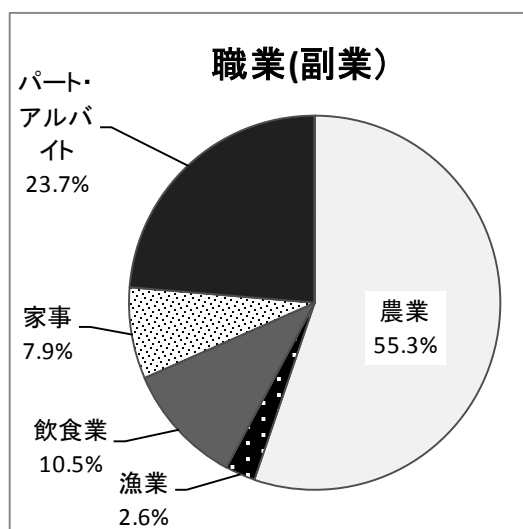
		票	%
1	農業	62	18.9%
2	漁業	3	0.9%
3	観光業(宿泊・サービス)	8	2.4%
4	製造加工業	10	3.0%
5	会社員・団体職員	56	17.1%
6	公務員(嘱託含む)	61	18.6%
7	飲食業	5	1.5%
8	学生	15	4.6%
9	家事	29	8.8%
10	パート・アルバイト	38	11.6%
11	無職	23	7.0%
12	その他	9	2.7%
13	無回答	9	2.7%
	合計	328	100.0%



【副業】

副業は、「農業」が 55.3% で最も多く、次いで、「パート・アルバイト」が 23.7% となっています。

		票	%
1	農業	21	55.3%
2	漁業	1	2.6%
3	観光業(宿泊・サービス)	0	0.0%
4	製造加工業	0	0.0%
5	会社員・団体職員	0	0.0%
6	公務員(嘱託含む)	0	0.0%
7	飲食業	4	10.5%
8	学生	0	0.0%
9	家事	3	7.9%
10	パート・アルバイト	9	23.7%
11	無職	0	0.0%
12	その他	0	0.0%
	合計	38	100.0%

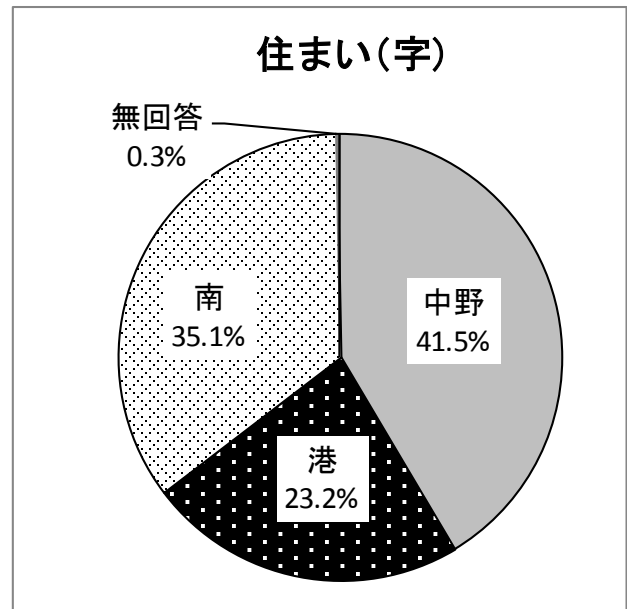


問4 お住まいの字はどちらですか。島外にもお住まいがある場合は所在地の市町村名等をご記入下さい。

【住まい(字)】

回答者の住まいは、中野が 41.5% (136 票)、南が 35.1% (115 票)、港が 23.2% (76 票) となっています。

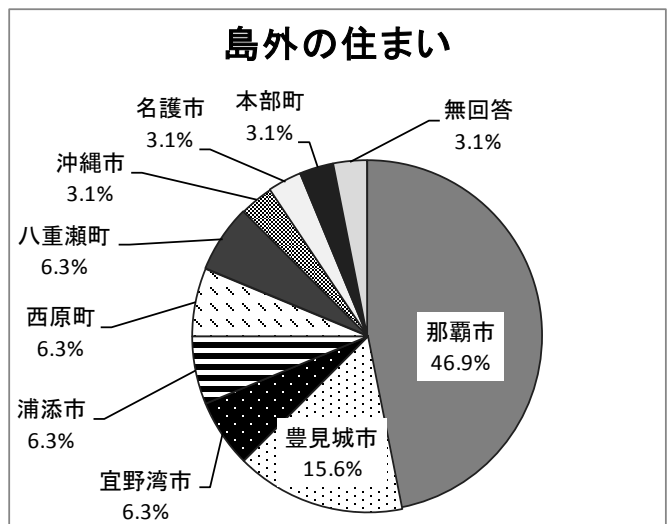
		票	%
1	中野	136	41.5%
2	港	76	23.2%
3	南	115	35.1%
4	無回答	1	0.3%
	合計	328	100.0%



【島外の住まい】

「島外にも住まいがある」と答えた回答者は 32 名でした。島外の住まいの所在地は、那覇市が 15 票 (46.9%) と最も多く、次いで豊見城市が 5 票 (15.6%) となっています。

		票	%
1	那覇市	15	46.9%
2	豊見城市	5	15.6%
3	宜野湾市	2	6.3%
4	浦添市	2	6.3%
5	西原町	2	6.3%
6	八重瀬町	2	6.3%
7	沖縄市	1	3.1%
8	名護市	1	3.1%
9	本部町	1	3.1%
10	無回答	1	3.1%
	合計	32	100.0%

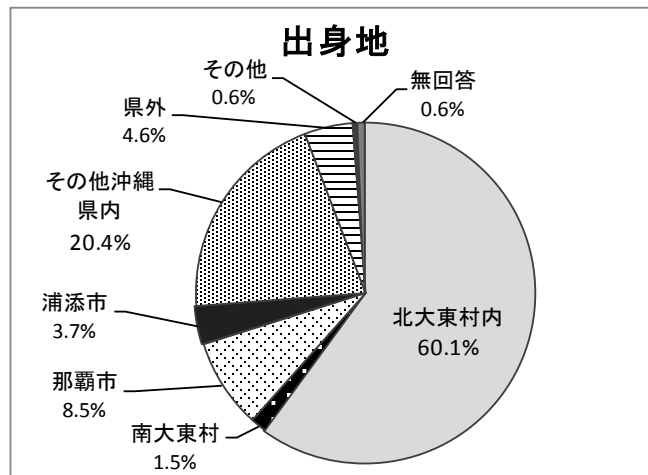


問5 出身地はどちらですか。

回答者の出身地・生まれ育った場所は、「北大東村内」が60.1%と最も多く、次いで、「その他沖縄県」が20.7%、「那覇市」が8.5%となっています。

「その他沖縄県内」の内訳としては宜野湾市や久米島町等、「県外」は東京都等となっています。

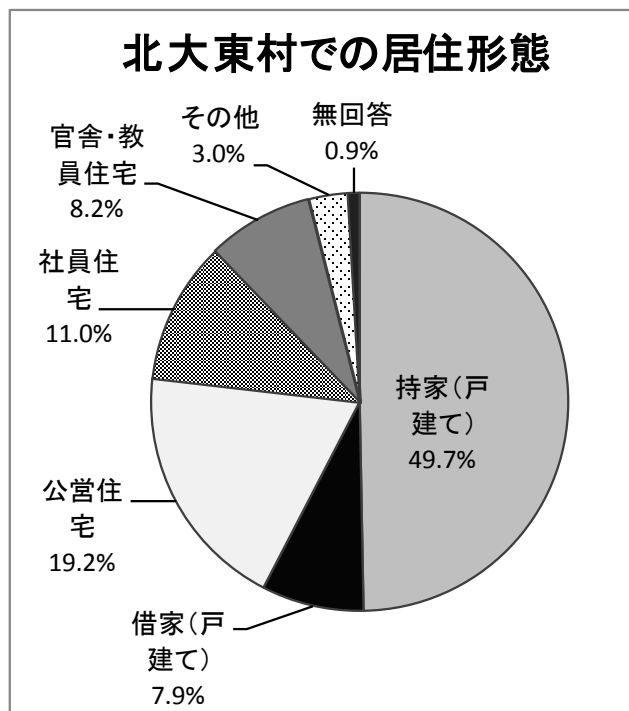
		票	%
1	北大東村内	197	60.1%
2	南大東村	5	1.5%
3	那覇市	28	8.5%
4	浦添市	12	3.7%
5	その他沖縄県内	67	20.4%
6	県外	15	4.6%
7	その他	2	0.6%
8	無回答	2	0.6%
	合計	328	100.0%



問6 北大東村での居住形態は次のどれですか。

北大東村での居住形態は、「持家（戸建て）」が49.7%と最も多く、次いで、「公営住宅」が19.2%、「社員住宅」が11.0%となっています。

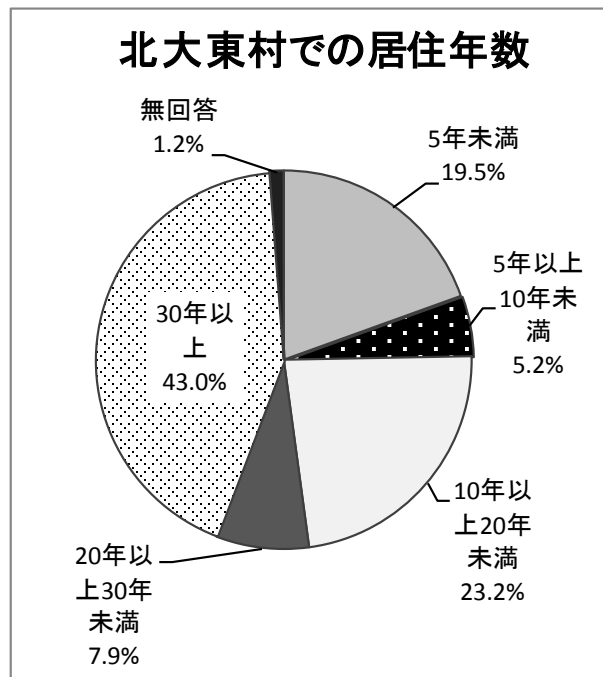
		票	%
1	持家(戸建て)	163	49.7%
2	借家(戸建て)	26	7.9%
3	公営住宅	63	19.2%
4	社員住宅	36	11.0%
5	官舎・教員住宅	27	8.2%
6	その他	10	3.0%
7	無回答	3	0.9%
	合計	328	100.0%



問7 北大東村での居住年数はどのくらいですか。

北大東村での居住年数は、「30 年以上」が 43.0%と最も多く、次いで、「10 年以上 20 年未満」が 23.2%、「5 年未満」が 19.5%となっています。

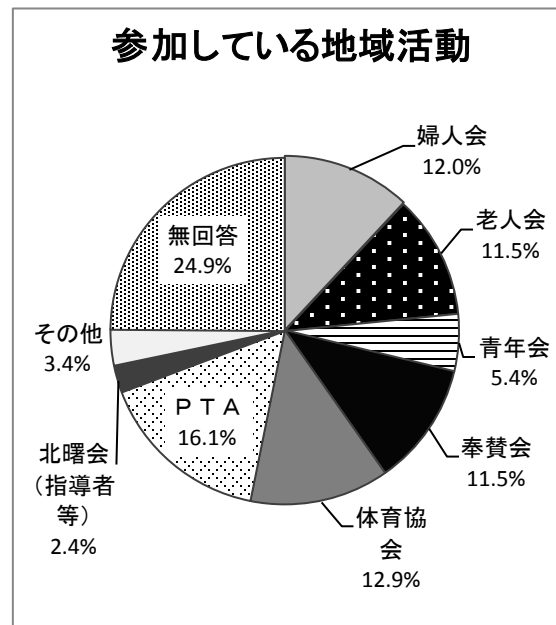
		票	%
1	5年未満	64	19.5%
2	5年以上10年未満	17	5.2%
3	10年以上20年未満	76	23.2%
4	20年以上30年未満	26	7.9%
5	30年以上	141	43.0%
6	無回答	4	1.2%
	合計	328	100.0%



問8 参加している地域活動は次のどれですか。

参加している地域活動は、「PTA」が 16.1%と最も多く、次いで、「体育協会」が 12.9%、「婦人会」が 12.0%となっています。

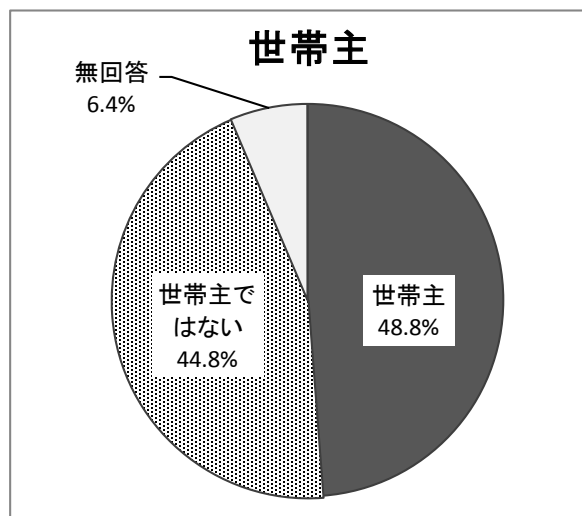
		票	%
1	婦人会	49	12.0%
2	老人会	47	11.5%
3	青年会	22	5.4%
4	奉賛会	47	11.5%
5	体育協会	53	12.9%
6	PTA	66	16.1%
7	北曙会(指導者等)	10	2.4%
8	その他	14	3.4%
9	無回答	102	24.9%
	合計	410	100.0%



問9 あなたは世帯主ですか。

「世帯主」である回答者が 48.8%、「世帯主ではない」回答者が 44.8%となっています。

		票	%
1	世帯主	160	48.8%
2	世帯主ではない	147	44.8%
3	無回答	21	6.4%
	合計	328	100.0%



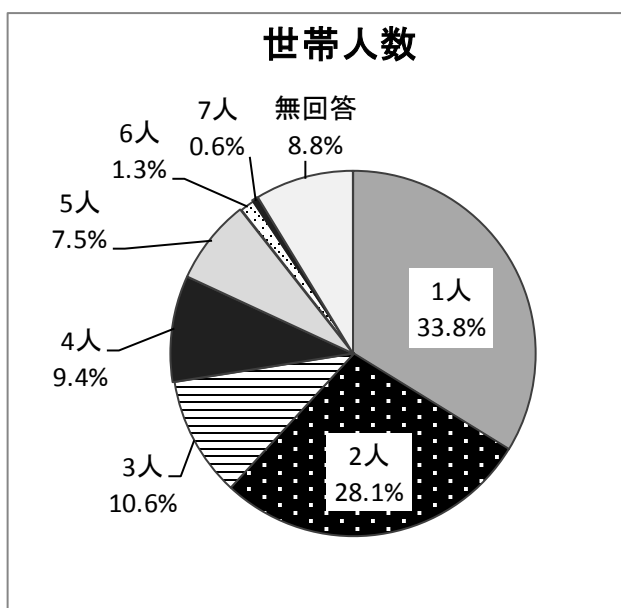
＜世帯主の方のみへの質問＞

問10 あなたの世帯人数は何人ですか。また、世帯構成は次のどれですか。

【世帯人数】

世帯人数は「1人」が最も多く 33.8%、次いで「2人」が 28.1%となっており、世帯人員の少なさが伺えます。

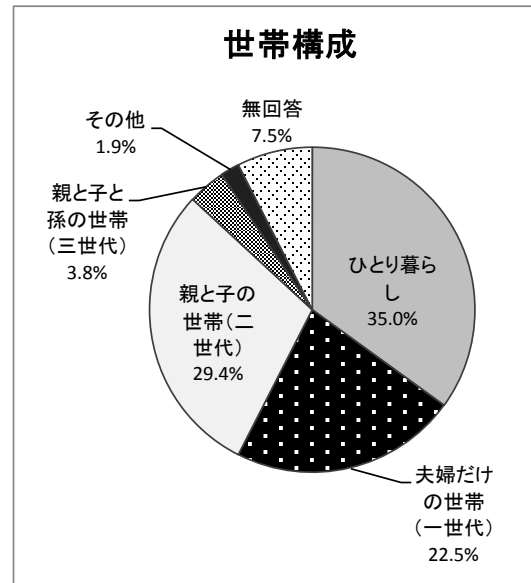
		票	%
1	1人	54	33.8%
2	2人	45	28.1%
3	3人	17	10.6%
4	4人	15	9.4%
5	5人	12	7.5%
6	6人	2	1.3%
7	7人	1	0.6%
8	無回答	14	8.8%
	合計	160	100.0%



【世帯構成】

世帯構成は、「ひとり暮らし」が最も多く 35.0%、次いで「親と子の世帯（二世帯）」が 29.4%、「夫婦だけの世帯（一世帯）」が 22.5%となっています。

		票	%
1	ひとり暮らし	56	35.0%
2	夫婦だけの世帯（一世帯）	36	22.5%
3	親と子の世帯（二世帯）	47	29.4%
4	親と子と孫の世帯（三世帯）	6	3.8%
5	その他	3	1.9%
6	無回答	12	7.5%
	合計	160	100.0%



＜世帯主の方のみへの質問＞

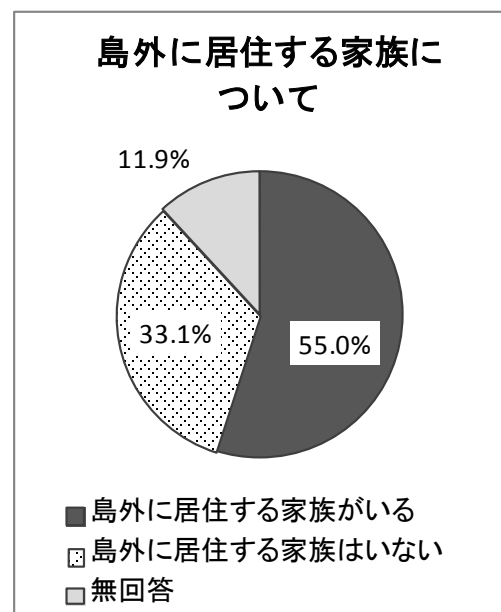
問 1 1 島外に居住しているご家族の方はいますか。おられる場合は、人数をご記入ください。

【島外に居住する家族について】

「島外に居住する家族がいる」が 88 人（55.0%）、「島外に居住する家族はいない」が 53 人（33.1%）となっています。島の半数以上の世帯の家族が、島外に居住する状況となっています。

問11 島外に居住する家族について

		票	%
1	島外に居住する家族がいる	88	55.0%
2	島外に居住する家族はいない	53	33.1%
3	無回答	19	11.9%
	合計	160	100.0%

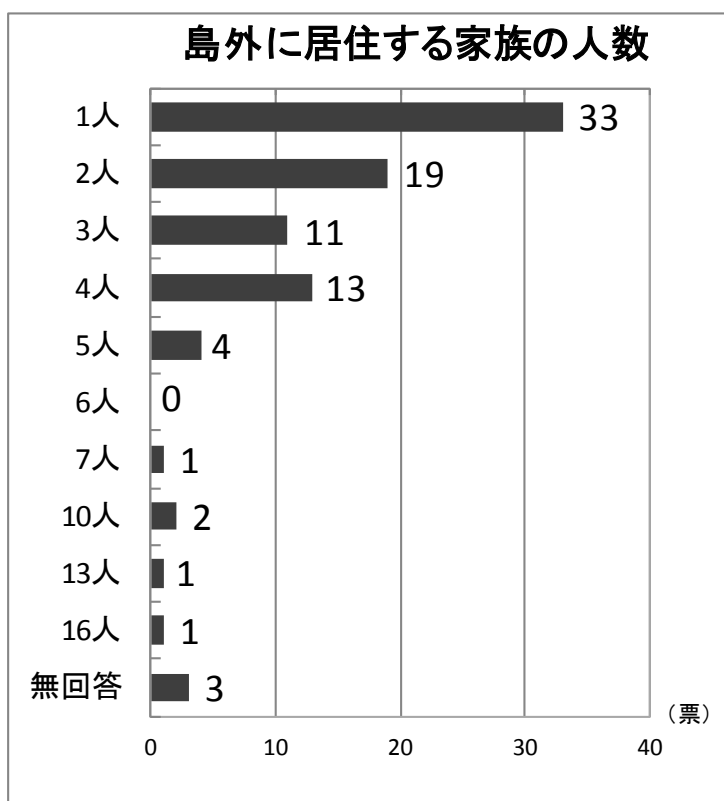


【島外に居住する家族の人数】

島外に居住する家族の人数は、「1人」が最も多く 33 票 (37.5%)、次いで「2人」が 19 票 (21.6%) となっています。

問11 島外に居住する家族の人数

		票	%
1	1人	33	37.5%
2	2人	19	21.6%
3	3人	11	12.5%
4	4人	13	14.8%
5	5人	4	4.5%
6	6人	0	0.0%
7	7人	1	1.1%
8	10人	2	2.3%
9	13人	1	1.1%
10	16人	1	1.1%
11	無回答	3	3.4%
	合計	88	100.0%

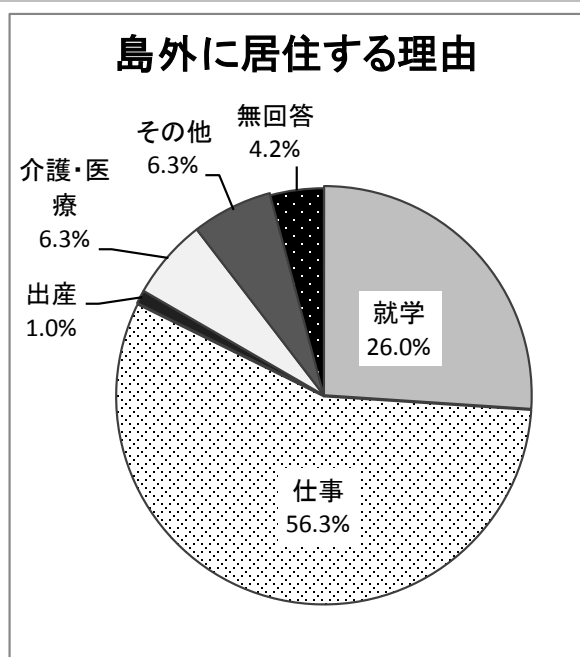


問11-1 問11で「1. 島外に居住する家族がいる」と答えた方におたずねします。居住の理由は次のどれですか。

家族が島外に居住する理由について、「仕事」が最も多く 56.3%を占めています。次いで、「就学」が 26.0%、「介護」が 6.3%となっています。

問11-1 島外に居住する理由

		票	%
1	就学	25	26.0%
2	仕事	54	56.3%
3	出産	1	1.0%
4	介護・医療	6	6.3%
5	その他	6	6.3%
6	無回答	4	4.2%
	合計	96	100.0%



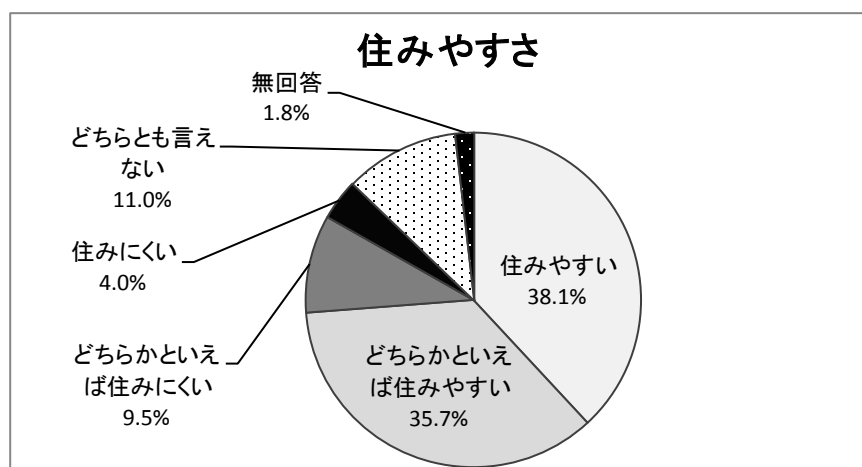
Ⅱ. 現在の北大東村について

問12 北大東村は住みやすいところだと思いますか。

「住みやすい」が38.1%、「どちらかといえば住みやすい」が35.7%と好意的に捉えている回答者が全体の73.8%となっています。一方、「住みにくい」が4.0%、「どちらかといえば住みにくい」が9.5%と好意的に捉えていない回答者が全体の13.5%となっています。

問12 住みやすさ

		票	%
1	住みやすい	125	38.1%
2	どちらかといえば住みやすい	117	35.7%
3	どちらかといえば住みにくい	31	9.5%
4	住みにくい	13	4.0%
5	どちらとも言えない	36	11.0%
6	無回答	6	1.8%
	合計	328	100.0%

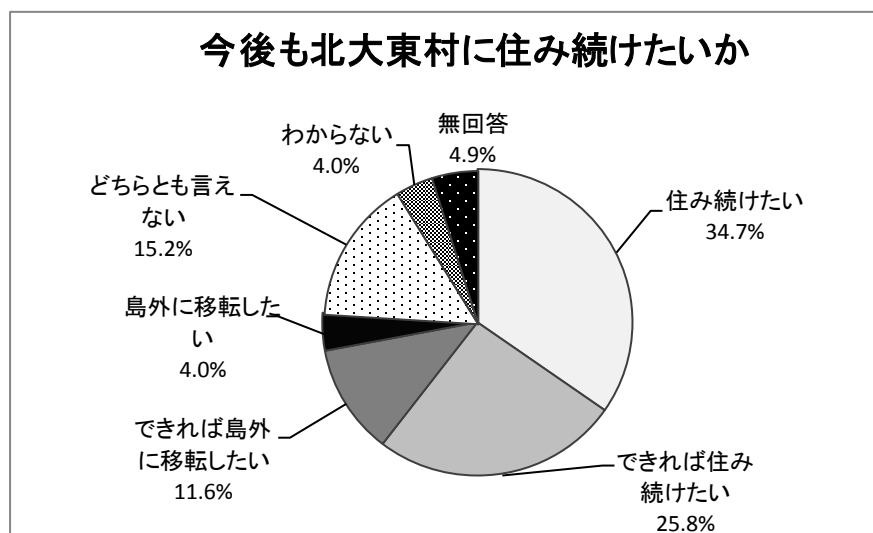


問13 北大東村にこれからも住み続けたいと思いますか。

これからも北大東村に住み続けたいかという問いに対して、「住み続けたい」が最も多く34.7%、次いで「できれば住み続けたい」が25.8%となっています。一方、「島外に移転したい」の回答は、全体の4.0%となっています。

問13 今後も北大東村に住み続けたいか

		票	%
1	住み続けたい	114	34.7%
2	できれば住み続けたい	85	25.8%
3	できれば島外に移転したい	38	11.6%
4	島外に移転したい	13	4.0%
5	どちらとも言えない	50	15.2%
6	わからない	13	4.0%
7	無回答	16	4.9%
	合計	329	100.0%

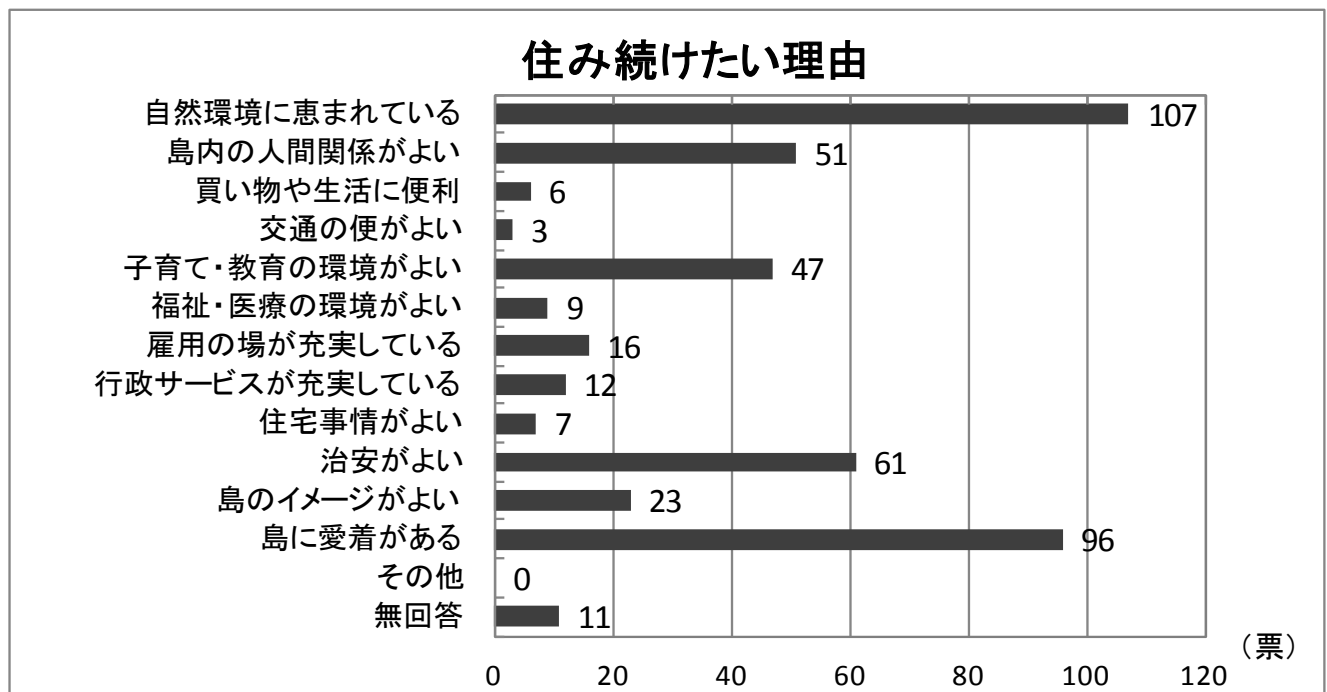


＜問１３で「住み続けたい」「できれば住み続けたい」を選択した回答者への質問＞

問１３-１ 住み続けたい理由

北大東村に住み続けたい理由として最も多い回答は、「自然環境に恵まれている」の 107 票（23.8%）となっており、次いで、「島に愛着がある」の 96 票（21.4%）となっています。その他、「治安がよい」61 票（13.6%）、「島内の人間関係がよい」51 票（11.4%）、「子育て・教育の環境がよい」47 票（10.5%）が回答の多い項目となっています。

		票	%
1	自然環境に恵まれている	107	23.8%
2	島内の人間関係がよい	51	11.4%
3	買い物や生活に便利	6	1.3%
4	交通の便がよい	3	0.7%
5	子育て・教育の環境がよい	47	10.5%
6	福祉・医療の環境がよい	9	2.0%
7	雇用の場が充実している	16	3.6%
8	行政サービスが充実している	12	2.7%
9	住宅事情がよい	7	1.6%
10	治安がよい	61	13.6%
11	島のイメージがよい	23	5.1%
12	島に愛着がある	96	21.4%
13	その他	0	0.0%
14	無回答	11	2.4%
	合計	449	100.0%

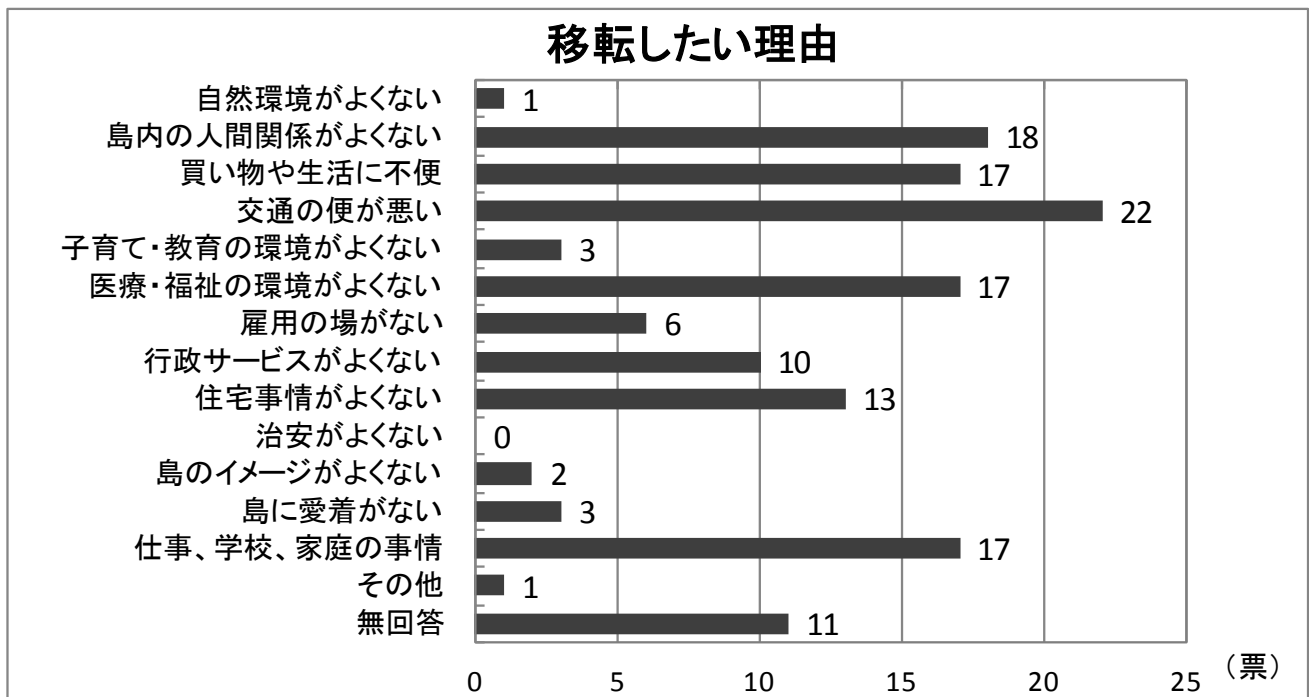


<問13で「できれば島外に移転したい」「島外に移転したい」を選択した回答者への質問>

問13-2 移転したい理由

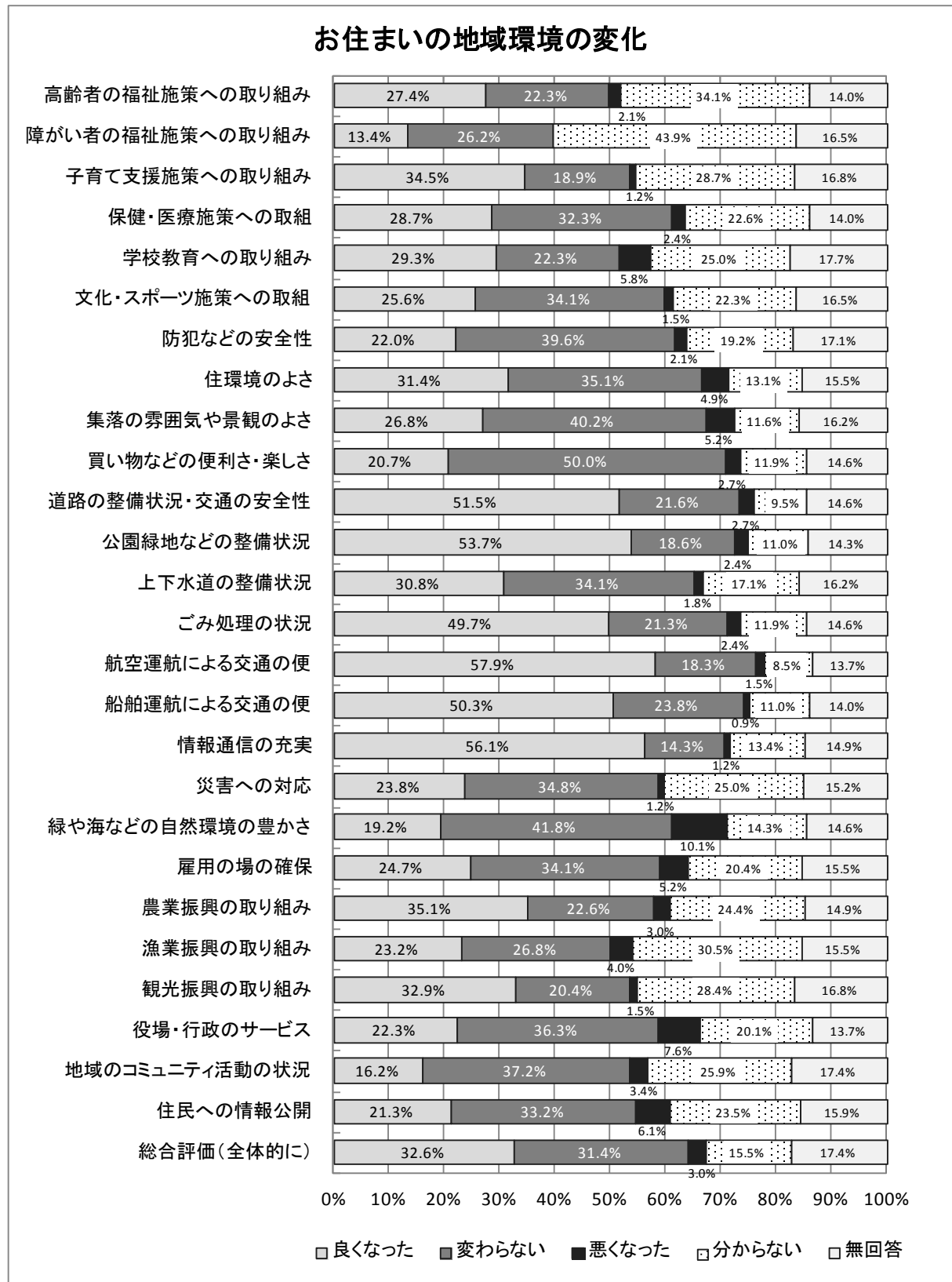
島外に移転したい理由として最も多い回答は、「交通の便が悪い」の22票（15.6%）となっており、次いで、「島内の人間関係が良くない」の18票（12.8%）となっています。その他、「買い物や生活に不便」、「医療・福祉の環境が良くない」、「仕事、学校、家庭の事情」が17票（12.1%）と、回答の多い項目となっています。

		票	%
1	自然環境が良くない	1	0.7%
2	島内の人間関係が良くない	18	12.8%
3	買い物や生活に不便	17	12.1%
4	交通の便が悪い	22	15.6%
5	子育て・教育の環境が良くない	3	2.1%
6	医療・福祉の環境が良くない	17	12.1%
7	雇用の場がない	6	4.3%
8	行政サービスが良くない	10	7.1%
9	住宅事情が良くない	13	9.2%
10	治安が良くない	0	0.0%
11	島のイメージが良くない	2	1.4%
12	島に愛着がない	3	2.1%
13	仕事、学校、家庭の事情	17	12.1%
14	その他	1	0.7%
15	無回答	11	7.8%
合計		141	100.0%



問14-A お住まいの環境について、以前とくらべてどうでしょうか。

地域環境の変化について、総合評価としては、「良くなった」32.6%、「変わらない」31.4%、「悪くなった」3.0%となっています。また、「良くなった」と捉えられている項目は「航空運航による交通の便」57.9%、「情報通信の充実」56.1%となっており、一方、「悪くなった」と捉えられている項目は「緑や海などの自然環境の豊かさ」10.1%となっている。

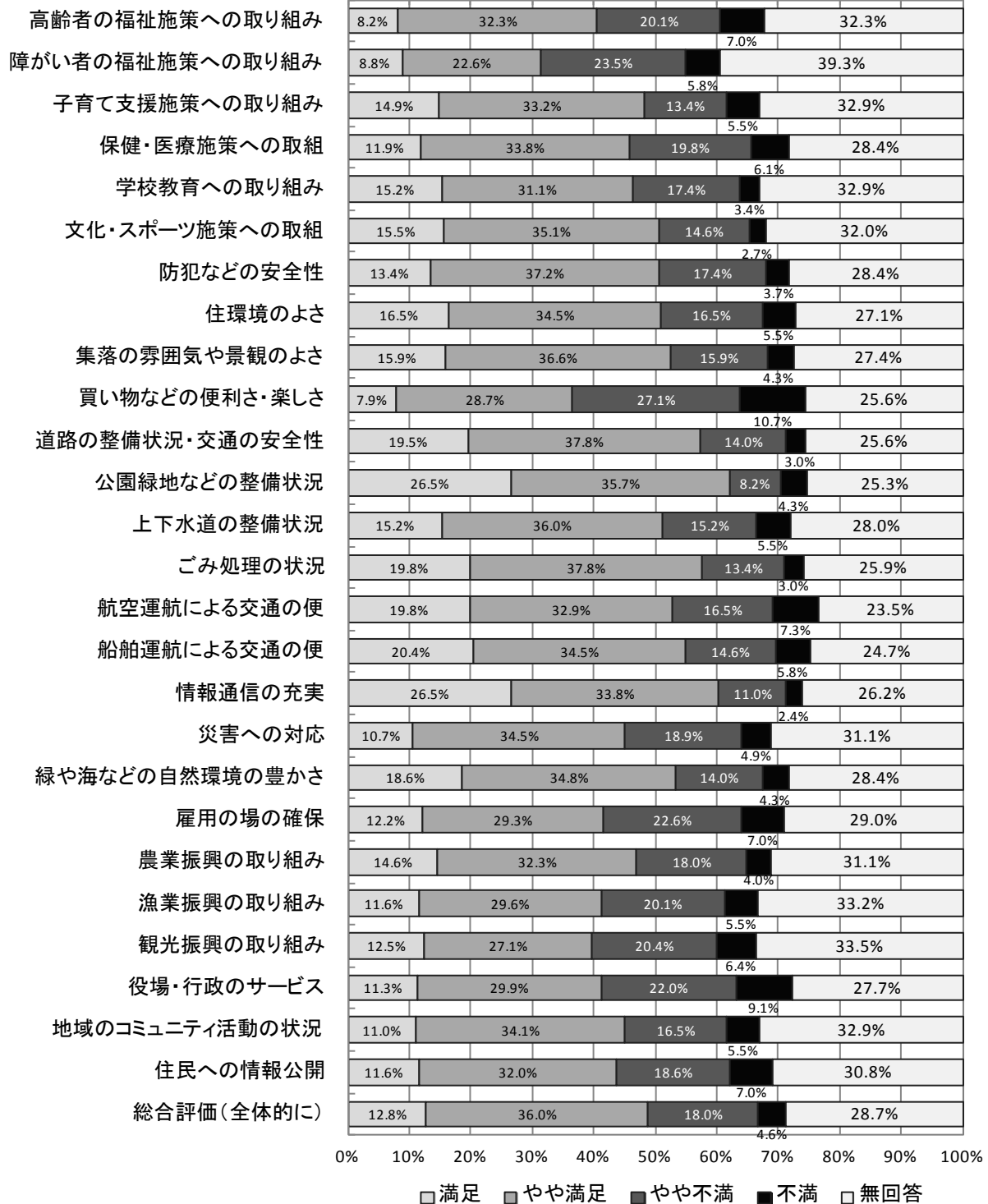


問14-B 現在の状況にどの程度満足していますか。

地域環境に対する満足度について、総合評価としては「満足」12.8%、「やや満足」36.0%、「やや不満」18.0%、「不満」4.6%と、好意的に捉えている住民が多くなっています。

また、「満足」「やや満足」の割合が高い項目は「公園緑地などの整備状況」62.2%、「情報通信の充実」60.3%となっており、一方、「やや不満」「不満」割合が高い項目は「買い物などの便利さ」37.8%となっています。

お住まいの地域環境に対する現在の満足度

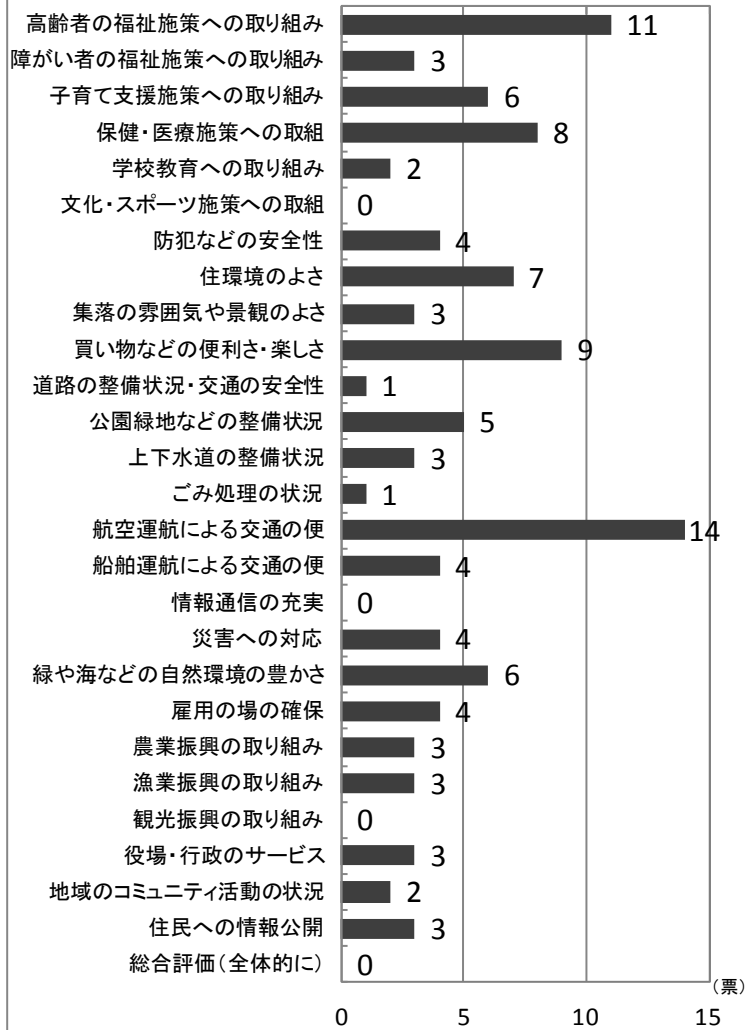


問14-C 特に困っているもしくは問題となっていることはどのようなことですか。

特に困っていること、問題となっていることとして、最も多かった項目は「航空運航による交通の便」が14票（12.8%）となっています。次いで、「高齢者の福祉施策への取り組み」が11票（10.1%）、「買い物などの便利さ・楽しさ」が9票（8.3%）となっています。

		票	%
1	高齢者の福祉施策への取り組み	11	10.1%
2	障がい者の福祉施策への取り組み	3	2.8%
3	子育て支援施策への取り組み	6	5.5%
4	保健・医療施策への取組	8	7.3%
5	学校教育への取り組み	2	1.8%
6	文化・スポーツ施策への取組	0	0.0%
7	防犯などの安全性	4	3.7%
8	住環境のよさ	7	6.4%
9	集落の雰囲気や景観のよさ	3	2.8%
10	買い物などの便利さ・楽しさ	9	8.3%
11	道路の整備状況・交通の安全性	1	0.9%
12	公園緑地などの整備状況	5	4.6%
13	上下水道の整備状況	3	2.8%
14	ごみ処理の状況	1	0.9%
15	航空運航による交通の便	14	12.8%
16	船舶運航による交通の便	4	3.7%
17	情報通信の充実	0	0.0%
18	災害への対応	4	3.7%
19	緑や海などの自然環境の豊かさ	6	5.5%
20	雇用の場の確保	4	3.7%
21	農業振興の取り組み	3	2.8%
22	漁業振興の取り組み	3	2.8%
23	観光振興の取り組み	0	0.0%
24	役場・行政のサービス	3	2.8%
25	地域のコミュニティ活動の状況	2	1.8%
26	住民への情報公開	3	2.8%
27	総合評価(全体的に)	0	0.0%
	合計	109	100.0%

特に困っていること、問題となっていること



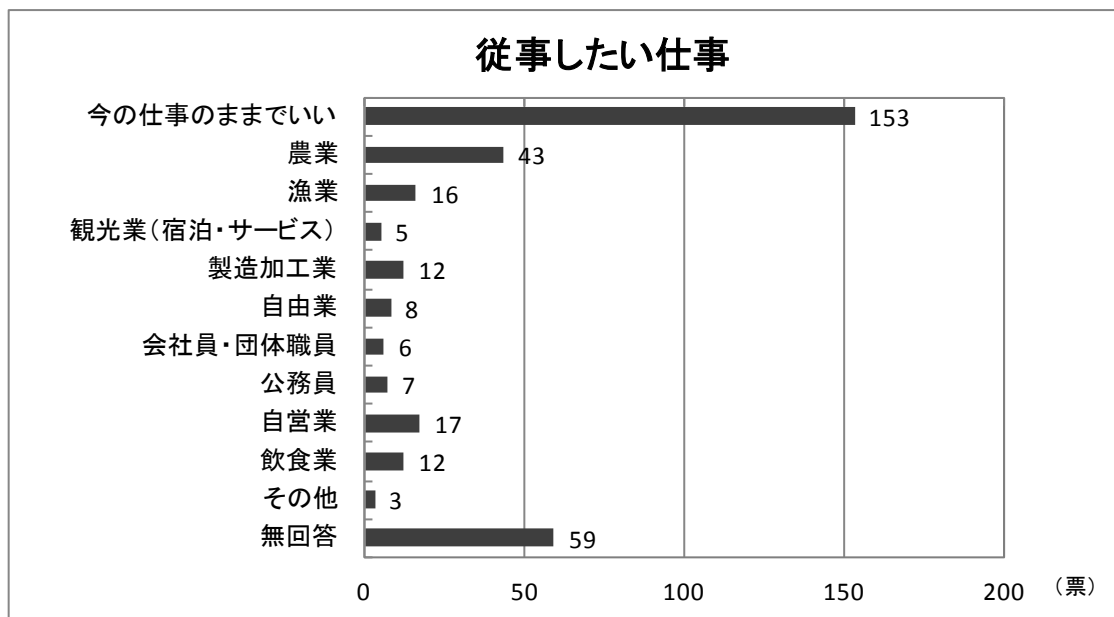
Ⅲ. 北大東村の将来像や今後の方向性について

＜仕事について（雇用・産業など）＞

問１５ 環境が整えば従事したい仕事はありますか。

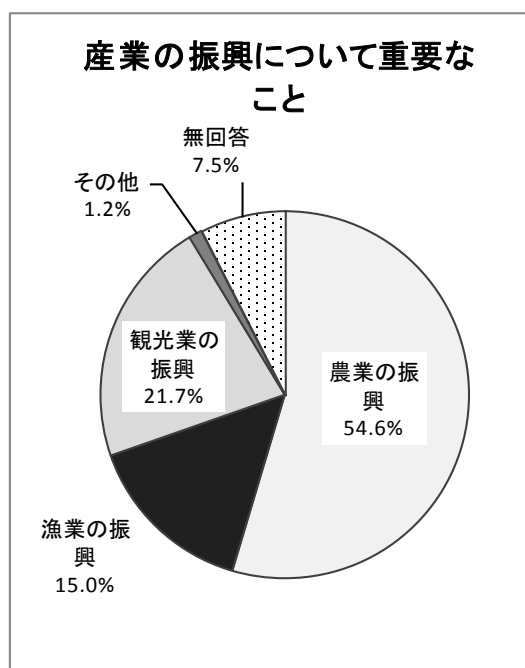
環境が整えば従事したい仕事はありますかという問いに対して、「今の仕事のままでいい」という回答が最も多く、全体の 44.9%を占めています。次いで、「農業」が 12.6%となっています。

		票	%
1	今の仕事のままでいい	153	44.9%
2	農業	43	12.6%
3	漁業	16	4.7%
4	観光業(宿泊・サービス)	5	1.5%
5	製造加工業	12	3.5%
6	自由業	8	2.3%
7	会社員・団体職員	6	1.8%
8	公務員	7	2.1%
9	自営業	17	5.0%
10	飲食業	12	3.5%
11	その他	3	0.9%
12	無回答	59	17.3%
	合計	341	100.0%



問16 北大東村の産業の振興についてどのような項目が重要だと思いますか。

北大東村の産業の振興について重要なのは、「農業の振興」だと考えている回答者が最も多く、全体の54.6%を占めています。「観光業の振興」は21.7%、「漁業の振興」は15.0%となっています。



問16 産業の振興について重要なこと

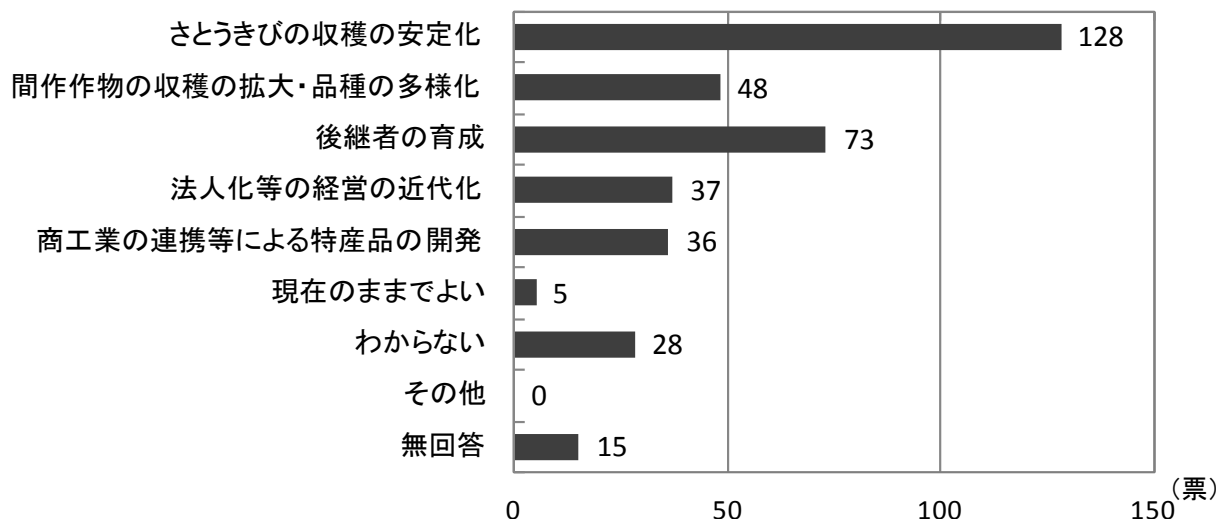
		票	%
1	農業の振興	189	54.6%
2	漁業の振興	52	15.0%
3	観光業の振興	75	21.7%
4	その他	4	1.2%
5	無回答	26	7.5%
	合計	346	100.0%

問17 北大東村の農業をより充実させるために必要と思われる項目は何ですか。

北大東村の農業をより充実させるために必要なこととして、「さとうきびの収穫の安定化」が128票（34.6%）と突出しています。次いで、「後継者の育成」が73票（19.7%）、「間作作物の収穫の拡大・品種の多様化」が48票（13.0%）となっています。

		票	%
1	さとうきびの収穫の安定化	128	34.6%
2	間作作物の収穫の拡大・品種の多様化	48	13.0%
3	後継者の育成	73	19.7%
4	法人化等の経営の近代化	37	10.0%
5	商工業の連携等による特産品の開発	36	9.7%
6	現在のままでよい	5	1.4%
7	わからない	28	7.6%
8	その他	0	0.0%
9	無回答	15	4.1%
	合計	370	100.0%

農業を充実させるために必要なこと

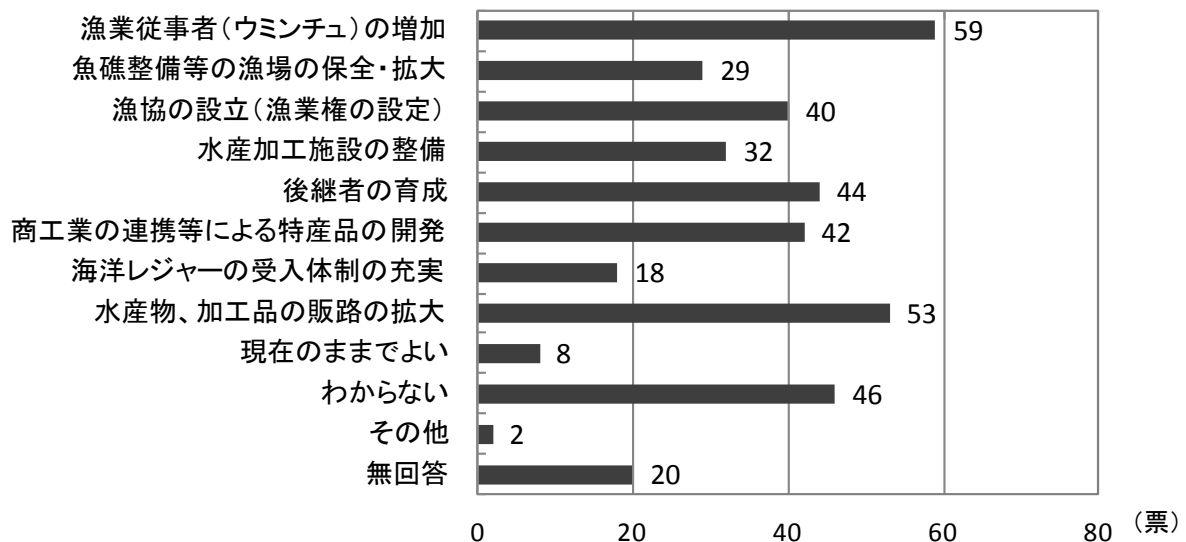


問 18 北大東村の漁業をより充実させるために必要と思われる項目は何ですか。

北大東村の漁業をより充実させるために必要なことの回答は票がばらけていますが、「漁業従事者（ウミンチュ）の増加」が 59 票（15.0%）、次いで、「水産物、加工品の販路の拡大」が 53 票（13.5%）となっています。

		票	%
1	漁業従事者(ウミンチュ)の増加	59	15.0%
2	魚礁整備等の漁場の保全・拡大	29	7.4%
3	漁協の設立(漁業権の設定)	40	10.2%
4	水産加工施設の整備	32	8.1%
5	後継者の育成	44	11.2%
6	商工業の連携等による特産品の開発	42	10.7%
7	海洋レジャーの受入体制の充実	18	4.6%
8	水産物、加工品の販路の拡大	53	13.5%
9	現在のままでよい	8	2.0%
10	わからない	46	11.7%
11	その他	2	0.5%
12	無回答	20	5.1%
	合計	393	100.0%

漁業を充実させるために必要なこと

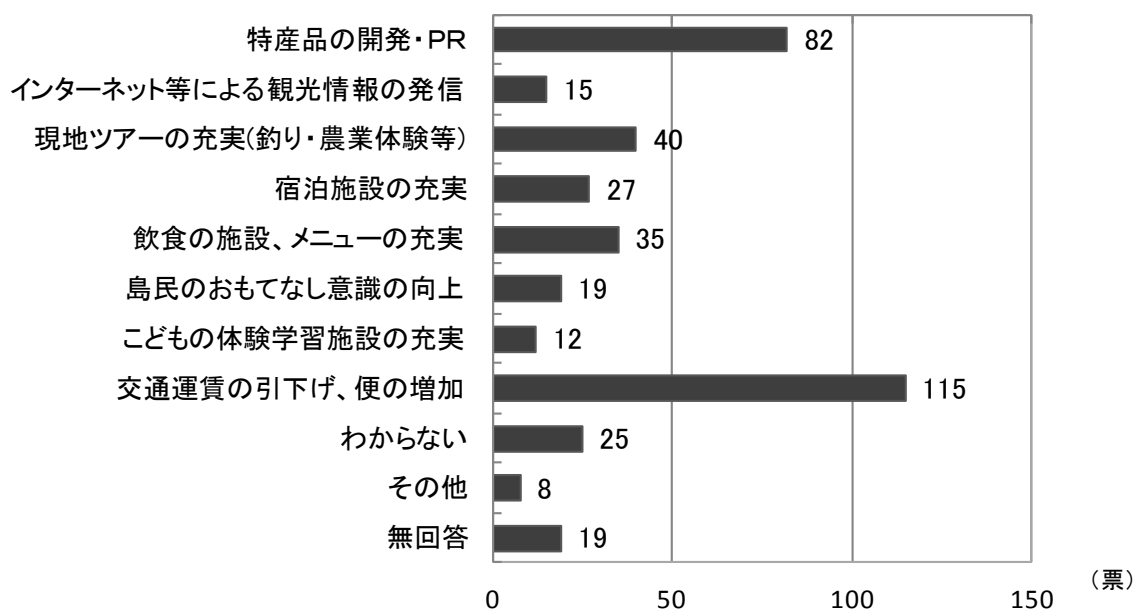


問 19 北大東村の観光業をより充実させるために必要と思われる項目は何ですか。

北大東村の観光業をより充実させるために必要なこととして、「交通運賃の引下げ、便の増加」が 115 票（29.0%）と突出しています。次いで、「特産品の開発・PR」が 82 票（20.7%）となっています。

		票	%
1	特産品の開発・PR	82	20.7%
2	インターネット等による観光情報の発信	15	3.8%
3	現地ツアーの充実(釣り・農業体験等)	40	10.1%
4	宿泊施設の充実	27	6.8%
5	飲食の施設、メニューの充実	35	8.8%
6	島民のおもてなし意識の向上	19	4.8%
7	こどもの体験学習施設の充実	12	3.0%
8	交通運賃の引下げ、便の増加	115	29.0%
9	わからない	25	6.3%
10	その他	8	2.0%
11	無回答	19	4.8%
	合計	397	100.0%

観光業を充実させるために必要なこと

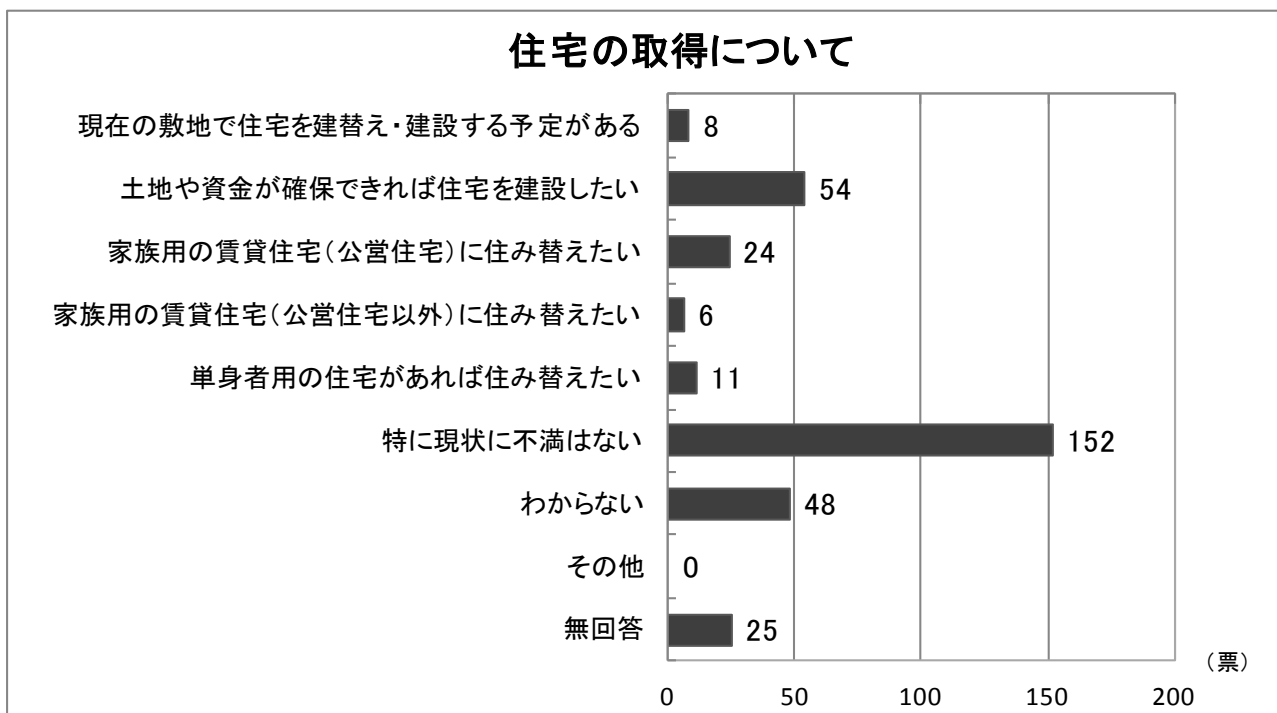


<暮らしについて（生活・福祉・環境・教育など）>

問20 住宅の取得（建設、購入、賃貸等）について、どの様にお考えですか。

住宅の取得についてどの様にお考えですかという問いに対して、「特に現状に不満はない」という回答が 152 票（46.3%）と突出しています。次いで、「土地や資金が確保できれば住宅を建設したい」が 54 票（16.5%）となっています。

		票	%
1	現在の敷地で住宅を建替え・建設する予定がある	8	2.4%
2	土地や資金が確保できれば住宅を建設したい	54	16.5%
3	家族用の賃貸住宅（公営住宅）に住み替えたい	24	7.3%
4	家族用の賃貸住宅（公営住宅以外）に住み替えたい	6	1.8%
5	単身者用の住宅があれば住み替えたい	11	3.4%
6	特に現状に不満はない	152	46.3%
7	わからない	48	14.6%
8	その他	0	0.0%
9	無回答	25	7.6%
	合計	328	100.0%

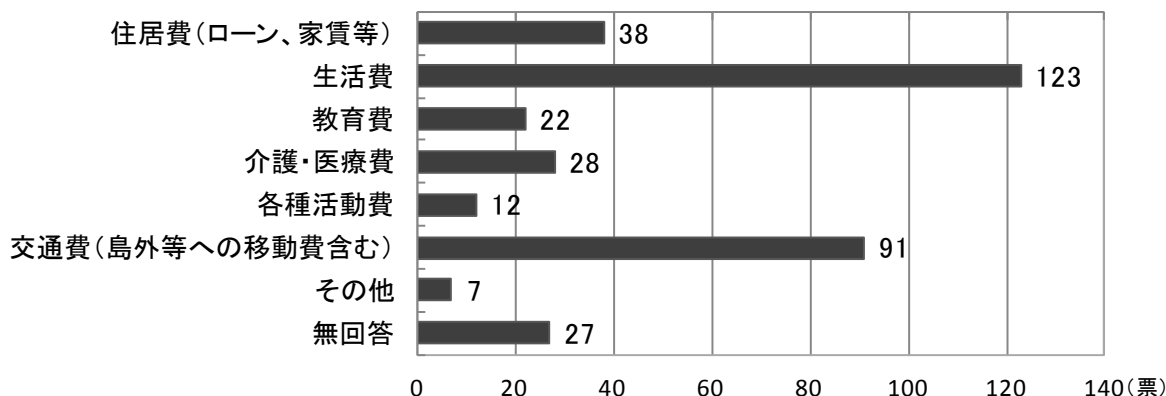


問 2 1 日常生活を送る上で、特に経済負担が大きい部分は何ですか。

「生活費」が 123 票（35.3%）と最も多く、次いで、「交通費（島外への移動費含む）」が 91 票（26.1%）となっています。

		票	%
1	住居費(ローン、家賃等)	38	10.9%
2	生活費	123	35.3%
3	教育費	22	6.3%
4	介護・医療費	28	8.0%
5	各種活動費	12	3.4%
6	交通費(島外等への移動費含む)	91	26.1%
7	その他	7	2.0%
8	無回答	27	7.8%
	合計	348	100.0%

経済負担が大きい部分

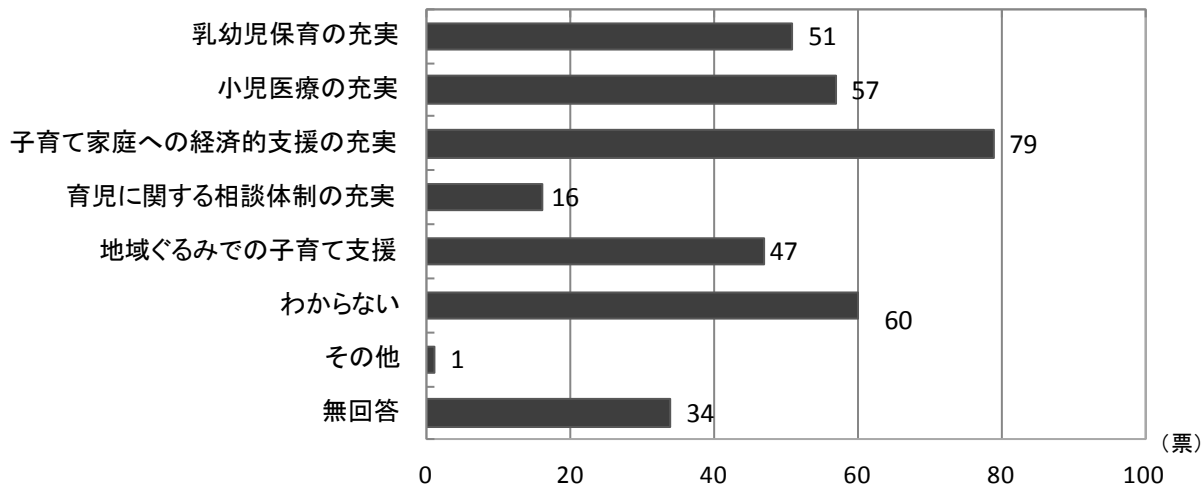


問 2 2 北大東村において、より良い子育ての環境を創出するために重要と思われる項目は何ですか。

「子育て家庭への経済的支援の充実」が 79 票（22.9%）と最も多く、「わからない」という回答を除いて、次に多いのは「小児医療の充実」が 57 票（16.5%）となっています。

		票	%
1	乳幼児保育の充実	51	14.8%
2	小児医療の充実	57	16.5%
3	子育て家庭への経済的支援の充実	79	22.9%
4	育児に関する相談体制の充実	16	4.6%
5	地域ぐるみでの子育て支援	47	13.6%
6	わからない	60	17.4%
7	その他	1	0.3%
8	無回答	34	9.9%
	合計	345	100.0%

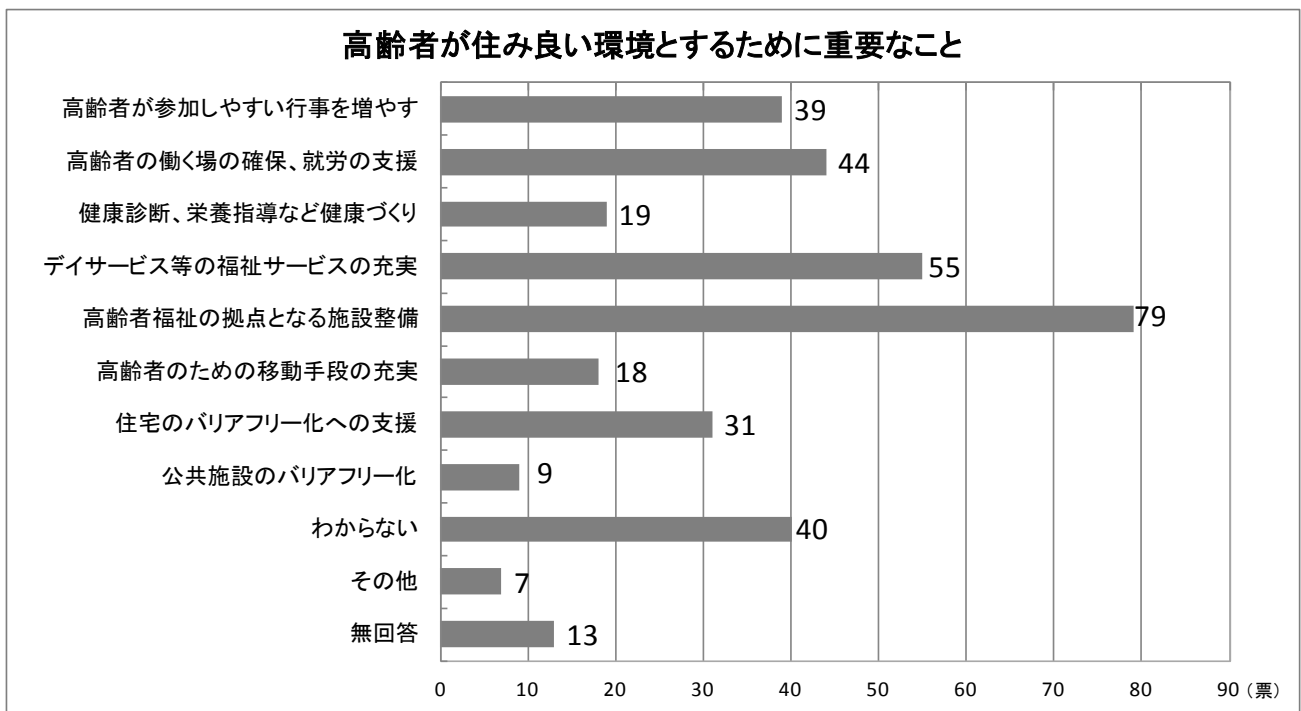
子育て環境創出のために重要なこと



問 2 3 北大東村が高齢者にとって住み良い環境となるためには、どのような項目が重要と思いますか。

北大東村が高齢者にとって住み良い環境となるために重要なこととして、最も回答の多い項目は「高齢者福祉の拠点となる施設整備」が 79 票（22.3%）、次いで「デイサービス等の福祉サービスの充実」が 55 票（15.5%）となっています。

		票	%
1	高齢者が参加しやすい行事を増やす	39	11.0%
2	高齢者の働く場の確保、就労の支援	44	12.4%
3	健康診断、栄養指導など健康づくり	19	5.4%
4	デイサービス等の福祉サービスの充実	55	15.5%
5	高齢者福祉の拠点となる施設整備	79	22.3%
6	高齢者のための移動手段の充実	18	5.1%
7	住宅のバリアフリー化への支援	31	8.8%
8	公共施設のバリアフリー化	9	2.5%
9	わからない	40	11.3%
10	その他	7	2.0%
11	無回答	13	3.7%
	合計	354	100.0%

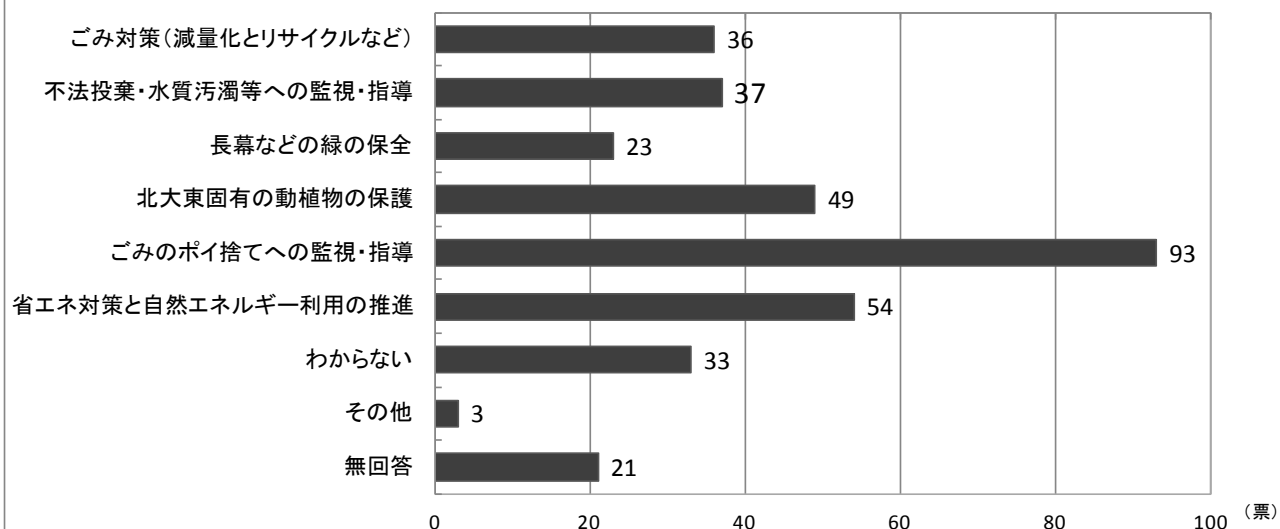


問 2 4 近年、環境に対する取り組みが重要となっていますが、このためにはどのような項目が重要だと思いますか。

環境に対する取り組みの中で重要なこととして、「ごみのポイ捨てへの監視・指導」が 93 票（26.6%）と突出しています。次いで「省エネ対策と自然エネルギー利用の推進」が 54 票（15.5%）、「北大東固有の動植物の保護」が 49 票（14.0%）となっています。

		票	%
1	ごみ対策(減量化とリサイクルなど)	36	10.3%
2	不法投棄・水質汚濁等への監視・指導	37	10.6%
3	長幕などの緑の保全	23	6.6%
4	北大東固有の動植物の保護	49	14.0%
5	ごみのポイ捨てへの監視・指導	93	26.6%
6	省エネ対策と自然エネルギー利用の推進	54	15.5%
7	わからない	33	9.5%
8	その他	3	0.9%
9	無回答	21	6.0%
	合計	349	100.0%

環境に対する取り組みの中で重要なこと

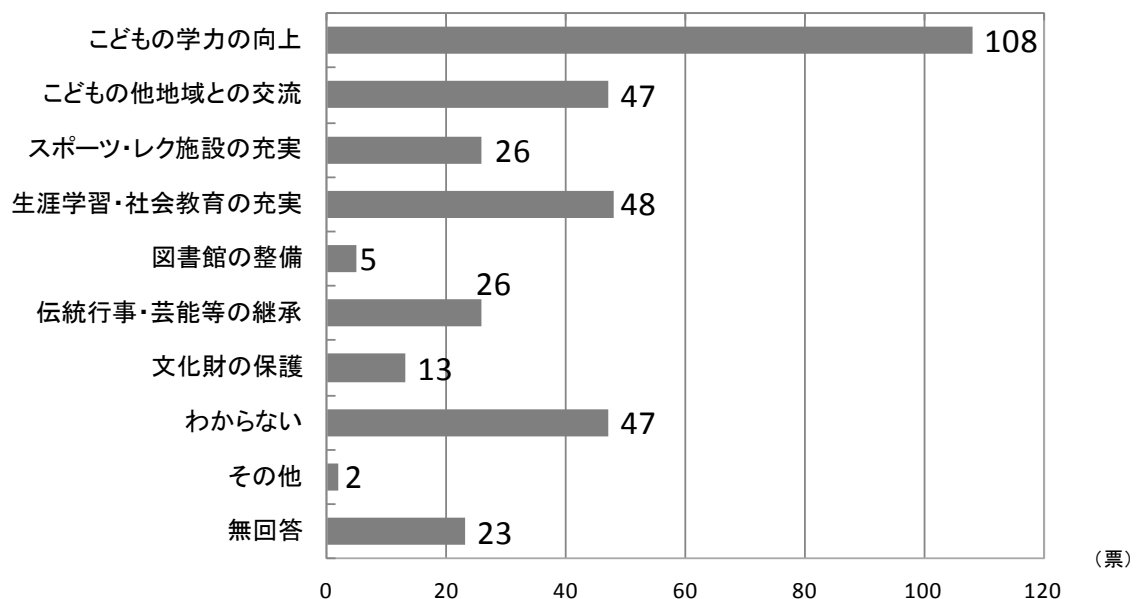


問 2 5 北大東村の教育・文化についてどのような項目が重要だと思いますか。

教育・文化について重要なこととして、「こどもの学力の向上」が 108 票 (31.3%) と突出しています。次いで「生涯学習・社会教育の充実」が 48 票 (13.9%)、「こどもの他地域との交流」が 47 票 (13.6%) となっています。

		票	%
1	こどもの学力の向上	108	31.3%
2	こどもの他地域との交流	47	13.6%
3	スポーツ・レク施設の充実	26	7.5%
4	生涯学習・社会教育の充実	48	13.9%
5	図書館の整備	5	1.4%
6	伝統行事・芸能等の継承	26	7.5%
7	文化財の保護	13	3.8%
8	わからない	47	13.6%
9	その他	2	0.6%
10	無回答	23	6.7%
	合計	345	100.0%

教育・文化について重要なこと



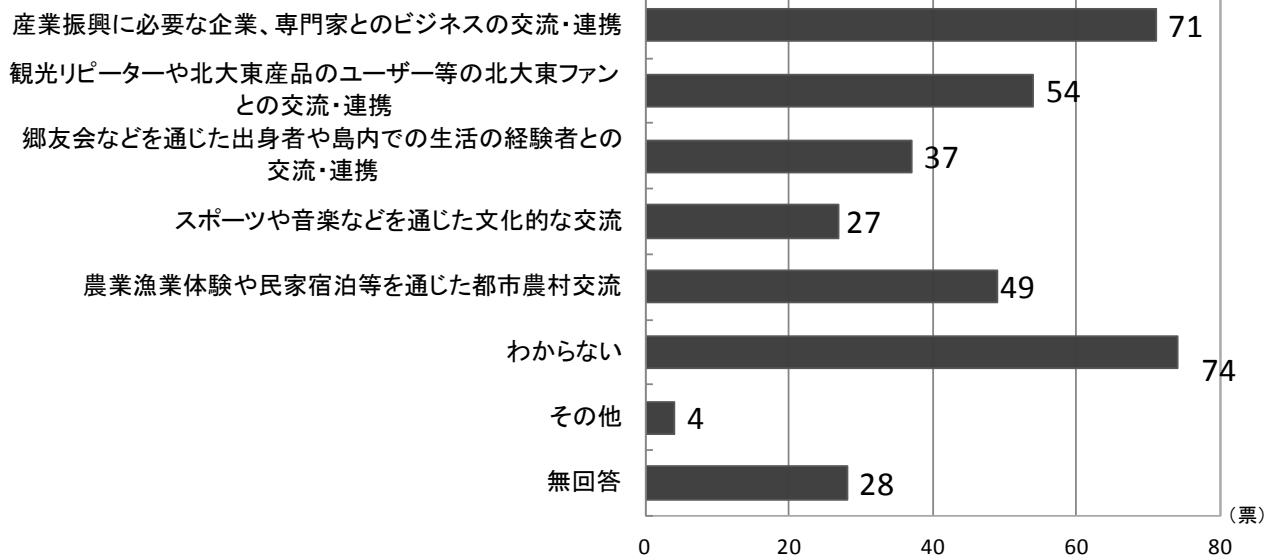
<交流について>

問 2 6 北大東村の暮らしや仕事を充実したものとするためには、島外の様々な組織や活動との交流や連携を深めることが重要となっています。そのためには、どのような項目が重要だと思いますか。

島外の組織や活動との交流や連携を深めるために重要なこととして、「わからない」が 74 票 (21.5%) と最も多く、次いで「産業振興に必要な企業、専門家とのビジネスの交流・連携」が 71 票 (20.6%)、「観光リピーターや北大東産品のユーザー等の北大東ファンとの交流・連携」が 54 票 (15.7%)、「農業漁業体験や民家宿泊等を通じた都市農村交流」が 49 票 (14.2%) となっています。

		票	%
1	産業振興に必要な企業、専門家とのビジネスの交流・連携	71	20.6%
2	観光リピーターや北大東産品のユーザー等の北大東ファンとの交流・連携	54	15.7%
3	郷友会などを通じた出身者や島内での生活の経験者との交流・連携	37	10.8%
4	スポーツや音楽などを通じた文化的な交流	27	7.8%
5	農業漁業体験や民家宿泊等を通じた都市農村交流	49	14.2%
6	わからない	74	21.5%
7	その他	4	1.2%
8	無回答	28	8.1%
	合計	344	100.0%

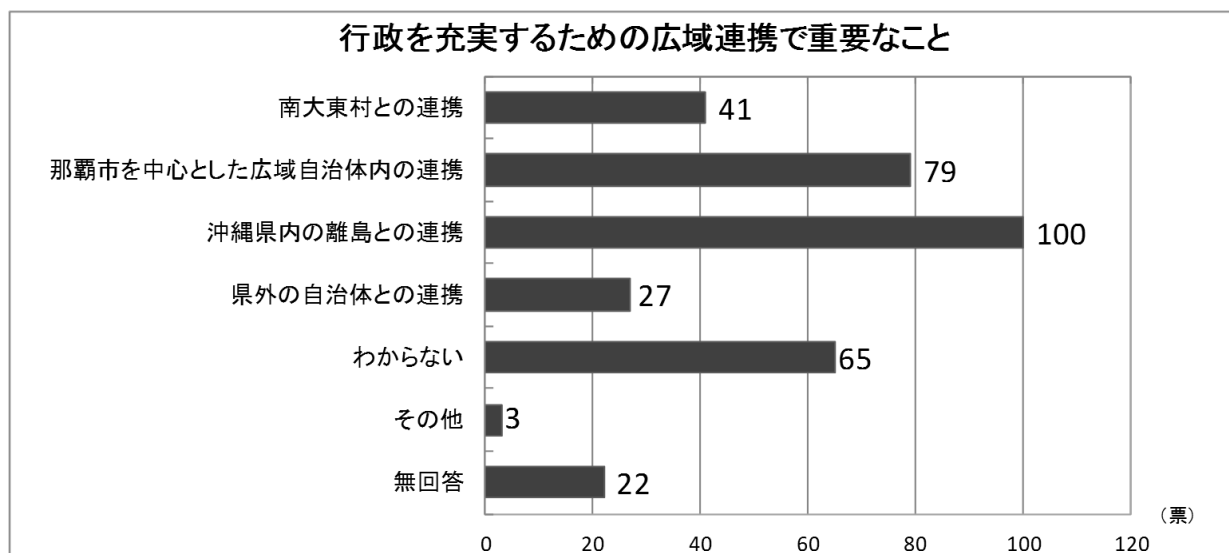
島外の組織や活動との交流や連携を深めるために重要なこと



問 2 7 北大東村の行政を充実するためには広域連携が重要となっていますが、どのような項目が重要と思いますか。

行政を充実させるための広域連携において重要なこととして、「沖縄県内の離島との連携」が 100 票（29.7%）と最も多く、次いで「那覇市を中心とした広域自治体内の連携」が 79 票（23.4%）、「わからない」が 65 票（19.3%）となっています。

		票	%
1	南大東村との連携	41	12.2%
2	那覇市を中心とした広域自治体内の連携	79	23.4%
3	沖縄県内の離島との連携	100	29.7%
4	県外の自治体との連携	27	8.0%
5	わからない	65	19.3%
6	その他	3	0.9%
7	無回答	22	6.5%
	合計	337	100.0%

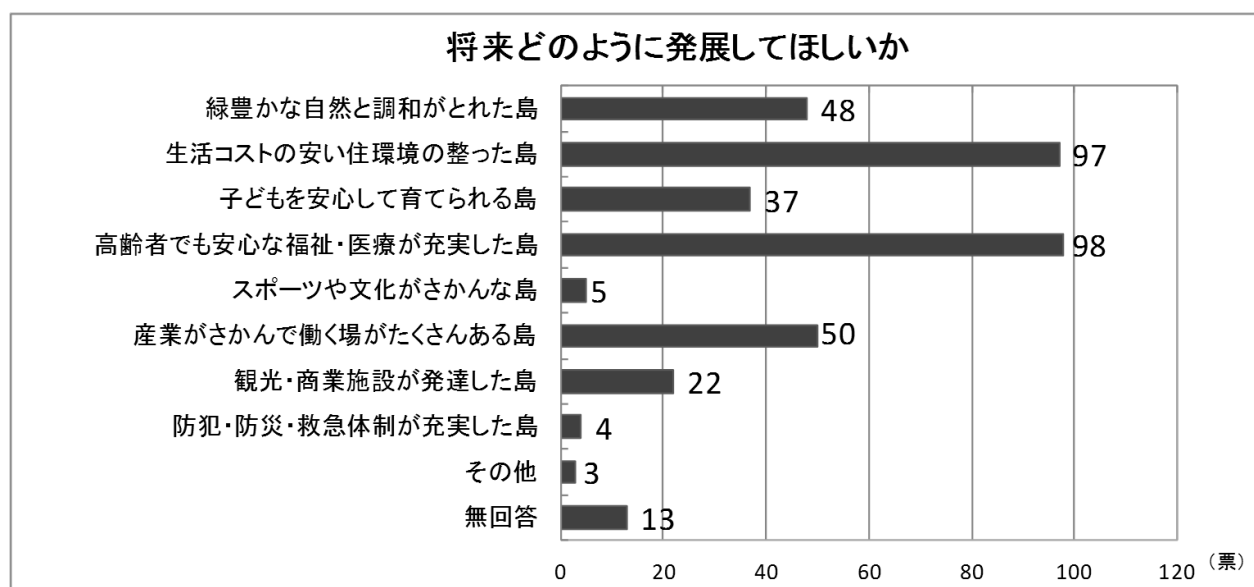


<島の将来像について>

問28 北大東村が将来どのような島に発展することを望んでいますか。

北大東村が将来どのような島に発展することを望んでいるかという問いに対して、「高齢者でも安心な福祉・医療が充実した島」が 98 票（26.0%）、「生活コストの安い住環境の整った島」が 97 票（25.7%）と突出しています。次いで「産業がさかんで働く場がたくさんある島」が 50 票（13.3%）、「緑豊かな自然と調和がとれた島」が 48 票（12.7%）となっています。

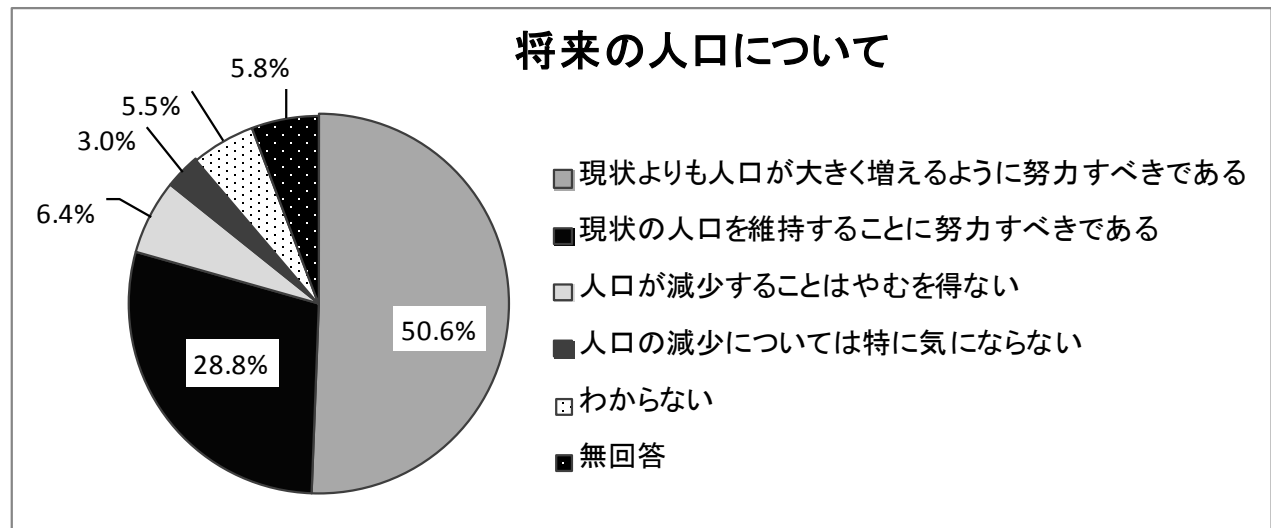
		票	%
1	緑豊かな自然と調和がとれた島	48	12.7%
2	生活コストの安い住環境の整った島	97	25.7%
3	子どもを安心して育てられる島	37	9.8%
4	高齢者でも安心な福祉・医療が充実した島	98	26.0%
5	スポーツや文化がさかんな島	5	1.3%
6	産業がさかんで働く場がたくさんある島	50	13.3%
7	観光・商業施設が発達した島	22	5.8%
8	防犯・防災・救急体制が充実した島	4	1.1%
9	その他	3	0.8%
10	無回答	13	3.4%
	合計	377	100.0%



問 2 9 北大東村の人口は、現在 530 人（平成 24 年 3 月現在）ですが、今後、特に対策を行わない場合に人口が減ることが懸念されます。このことについてどのように考えますか。

北大東村の将来の人口について、「現状よりも人口が大きく増えるように努力すべきである」が最も多く、50.6%を占めています。次いで「現状の人口を維持することに努力すべきである」が 28.8%となっており、「人口が減少することはやむを得ない」という回答は 6.4%となっています。

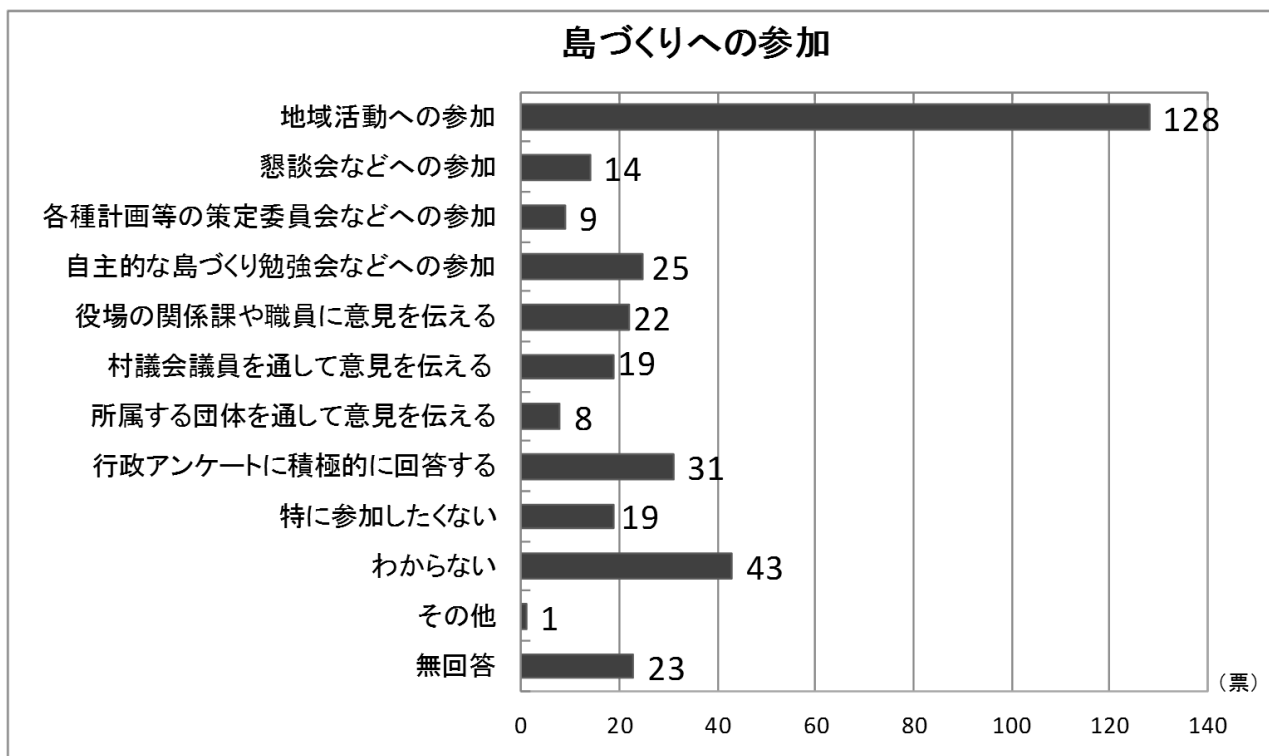
		票	%
1	現状よりも人口が大きく増えるように努力すべきである	167	50.6%
2	現状の人口を維持することに努力すべきである	95	28.8%
3	人口が減少することはやむを得ない	21	6.4%
4	人口の減少については特に気にならない	10	3.0%
5	わからない	18	5.5%
6	無回答	19	5.8%
合計		330	100.0%



問30 あなたはどのようにして島づくりへ参加したいと思いますか。

どのようにして島づくりへ参加したいかという問いに対して、「地域活動への参加」が128票(37.4%)と突出しています。その他、「行政アンケートに積極的に回答する」が31票(9.1%)、「自主的な島づくり勉強会などへの参加」が25票(7.3%)となっています。

		票	%
1	地域活動への参加	128	37.4%
2	懇談会などへの参加	14	4.1%
3	各種計画等の策定委員会などへの参加	9	2.6%
4	自主的な島づくり勉強会などへの参加	25	7.3%
5	役場の関係課や職員に意見を伝える	22	6.4%
6	村議会議員を通して意見を伝える	19	5.6%
7	所属する団体を通して意見を伝える	8	2.3%
8	行政アンケートに積極的に回答する	31	9.1%
9	特に参加したくない	19	5.6%
10	わからない	43	12.6%
11	その他	1	0.3%
12	無回答	23	6.7%
	合計	342	100.0%



問 3 1 北大東村で、今後とも大切にしたい、残したい、もしくは活用していきたい場所やモノ・活動・行事は何ですか。

地域の行事・活動

1. 大東宮祭
2. 大東宮（前夜祭）
3. 大東宮・金刀比羅・秋葉の三大祭り
4. 三大祭り。それぞれの島の歴史に深く関係していて、北大東特有な祭となっていて、島民としても心のよりどころとなっていると思われるし、今後観光資源としても十分期待できるから。
5. 大東宮祭を代表とする伝統文化
6. 海・自然に由来している金比羅祭などの神事
7. 海祭り
8. 奉讃会関係の行事（まつり）
9. 現在行っている行事が、スムーズに今後もおこなわれるような環境を整備してほしい。やぐら（だし）の保管場所等
10. 南北親善大会
11. 沖縄角力
12. 親子すもう
13. 子供達の元気の源である北曙会・響太鼓
14. 太鼓「北曙会」が島外で発表する機会をたくさんつくってほしい。一部の子ども（会に所属する）だけでなく一通り全員が太鼓をたたく機会をつくってほしい。例えば学校の授業等で。そこで目覚める子がいるかもしれないから。大東＝大東太鼓みたいなイメージができればいいなと思います。南大東とコラボしてたくさん活躍（島のPR）してほしいです。
15. 地域行事への子供の参加。（祭りの歴史等を伝えてほしい）
16. 文化・スポーツや祭りなど、島の行事は大事だと思う。
17. 敬老会は村民で祝いたい。（会費制にする等）
18. 行事はすべて
19. 地域全体で祝う入学祝、卒業祝（子供達は島の宝です）
20. 伝統文化や伝統行事は伝心伝承して、なくさないで下さい！
21. 北大東独自の文化・行事は、地域一体となった今のやり方で、今後とも続けてほしいです。
22. 各字で行っているCGG（島の清掃）等
23. 字別で行う清掃活動（島民一人一人が清掃活動に関わることで環境保全の意識を向上させるのだと思います。）
24. スポーツ活動
25. 子供達のあいさつ運動
26. 役場の前の花（ごくろうさま）
27. 地域ぐるみの活動
28. 図書フェア
29. 懇親会
30. 共同作業
31. PTA行事

自然・風景

1. 長幕の保存
2. 海の豊かな所をそのまま残してほしい。(特に、東方面の海)
3. 鍾乳洞
4. 大東ビロウ
5. 希少な動植物(クワガタ、ヒメハルゼミ、ビロウ等)が減少していく一方なので、保護していく必要性あり。
6. 大東の自然、植物(ヒメタニワタリ、オオタニワタリなど)、動物(ダイトウオオコウモリ、フクロウなど)
7. 美しい海、豊かな漁業資源
8. 沖縄海やその他の海
9. 島の自然。必要以上にこだわらず、必要ならば工夫をしてほしい。ビロー林や海岸線など。地域の先輩(60~80代くらい)方の物作り等の知恵や技術の継承。特産品につなげられたらいい。
10. 自然(工事で仕方のない事かもしれないが、壊されていく自然がとても惜しい)。
11. 緑を増やし(特に大東ビロウ)観光資源にした方が良くと思う。
12. 大東宮の森の植林
13. 現緑地帯の保存維持。大木等保全維持。
14. 灯台のある風景は大好きなので、ずっとこのまま残してほしいです。北大東村の海も汚さない様に、このままきれいな海であってほしいと思います。サトウキビ畑も大好きです。こちらも、このままであってほしいと思います。
15. 自然が減少しているのでコンクリートより緑化計画を増やしてほしい。植林は必要。南大東に比べて木が少なすぎる。
16. 月桃
17. 観光客は離島の自然を求めて来島しています。今は開発ばかりです。自然を壊さない様に発想を変えないと何も残らないと思います。ダンプが走り回る観光地はないです。静かで自然と触れ合える島を目指すべきです。
18. 自然や動物を大切に、温かい明るい北大東であってほしい(人にも動物にも優しい島)
19. 海岸の奇抜的な形をした岩、名前を付けたり、人工物を捨て置きしないで環境を保全する。北海岸の岩山の整備。

産業

1. “農業”島の広い土地をいかすべし。自らの経営力を向上させ、行政はサポートする方向性へと築いてほしい。
2. 畑
3. 漁港ができれば、ダイビングができる、ボートにのって釣りができるツアーがあったらよいと思います。

文化

1. 燐鉱石貯蔵庫跡の史跡保存（観光への活用）
2. 文化財。工場跡地等の利用（オープンカフェ等）
3. 旧西港付近の、昔の建物や工場跡を残してほしい。
4. 燐鉱石貯蔵庫跡や金刀比羅宮や、旧港跡といった北大東の開拓史に深く関わる歴史的文化物の保全活動。
5. 鉱山の坑道、燐鉱採掘後の一部整備、観光資源に活用。日糖時代の建物等（発電所、倉庫）周辺整備。
6. 燐鉱採掘事業当時の施設等、クレーン荷役作業

交流

1. 人情、絆
2. 大人が子供達を大切に作る雰囲気
3. 北大東村は、海に囲まれた小さな島で人口も少なく交通や生活面で不便さはありますが、逆に人口が少ないことを利点にして、村民のみんなが結束力が強く、どこにも負けない“ゆいまーる心”を大切にしていきたい。人と人との繋がりが、一番村の活性化につながると思う。

子育て

1. あずかり保育
2. 塾近くの公園の遊具の充実、砂場の安全確保（ネコなどの糞尿など）
3. 子供がいるので、保護者同士の交友は大事。集まりには積極的に参加したいので、子供と親が集まれるような行事や施設なら大歓迎です。

公園

1. 西港公園や農村公園など、子供達が楽しく遊べる施設は残してほしい。又、増やしてほしい。遊具を充実させるなど。
2. 公園を今後も活用したい（花と緑に囲まれた公園、いつも気持ち良く利用させて頂いています。）

その他

- ・わからない

2. 住民ワークショップ

(1) ワークショップ開催要領

①目的

近年のむらづくりにおいては、多様化する住民ニーズに応えつつ、地域の個性を生かしながら推進していくことが重要となっています。また、これまでの行政主導のむらづくりから脱却し、住民と行政による協働（同じ目的のために、対等な立場で協力し働きかけること）のむらづくりが求められています。

よって総合計画策定にあたって、住民と行政職員が意見交換を行う場として“住民ワークショップ”を開催し、総合計画の立案や今後のむらづくりへ活かすことを目的とします。

②開催日時

- ・第1回ワークショップ：平成24年7月6日（金）19:00～
- ・第2回ワークショップ：平成24年7月7日（土）19:00～

③開催形式

ワークショップ形式で行います。

ワークショップは、参加者がそれぞれの立場から日頃感じていることや、10年後の北大東村をどのような「島」にしたいか、どのように「むらづくり」を進めたらよいかなどを話し合い、皆さんで共通認識を持ちながら計画づくりを行うものです。

ファシリテーター（主にコンサルタント）と呼ばれる進行係が中心となってワークショップを進めていく。特に専門的な知識を要するものではなく、参加者が日頃生活しているなかで感じる率直な意見を話し合います。

④開催内容・方法

＜グループと分野＞

ワークショップは、いくつかの分野ごとにグループをつくり、その分野に沿った議論を進行していきます（1グループ7～8人程度、下記のグループ分け参考）。

住民ワークショップでは、概ね10年後の北大東村を想定し、現状や問題点、将来のあるべき姿（将来像）や目標などについて自由に意見交換を行います。

全体の参加人数により、2 or 3 グループとします。

■各分野と内容

グループ（分野）	内 容
①暮らし	高齢者福祉・医療、子育て支援・教育、人材育成、流通、自給自足、住まい・インフラ整備、景観・環境対策、娯楽・行事、歴史・文化、防災、土地利用、自然環境保全等について
②仕事	農業、水産業、観光業、行政、企業等について
③交流	交通（島外）、島出身・経験者との交流、経済的交流、文化的交流、人材・技術交流、情報の交流等について

※3 グループ構成可能な場合は、①暮らし、②仕事、③交流それぞれをグループとし、2 グループの場合は、「①暮らし」を単独、「②仕事」と「③交流」を1つのグループとしてまとめます。

※なお、グループはあくまでも議論する上で大きな方向性を示すもので、必ずしもその分野に限ったことだけを議論するという事ではありません。

⑤ワークショップの進め方（作業の流れ）

第1回ワークショップ（平成24年7月6日（金））

ステップ①：自己紹介をしよう！

皆さんがお住いのそれぞれの地域における魅力や守りたい場所、または課題などについて付箋紙に書き出し参加者同士で話し合います。（約40分）

ステップ②：北大東村の魅力や守りたい場所、課題などを考えよう！

ステップ②にて抽出した魅力が伸ばされ、また課題が解決した場合の、北大東村の将来像（キャッチフレーズ）を設定します。（約30分）

ステップ③：将来像を設定しよう！

ステップ④：今回のワークショップのまとめをしよう！

本日のワークショップのまとめとして、各グループの成果を発表します。（質疑応答を含めて約20分）

第2回ワークショップ（平成24年7月7日（土））

ステップ①：自己紹介をしよう！

前回（第1回）にて、皆さんと話し合った地域の魅力や守りたいもの、課題、目標像について、振り返りをします。（約10分）

ステップ②：前回（第1回）の振り返りをしよう！

ステップ③：施策の方向性を議論しよう！

前回（第1回）にて設定した将来像の実現に向けて、行うべき施策や目標について、皆さんで話し合います。（60分）

ステップ④：今回のワークショップのまとめをしよう！

計2回のワークショップのまとめとして、各グループの成果を発表します。（質疑応答を含めて約20分）



(2) ワークショップまとめ

＜らしグループ ■問題・課題又は残したいもの

＜高齢者＞

- ・高齢者対策。島に施設を！
- ・高齢者福祉施設(老人ホーム)
- ・オジイ、オバアの買い物のためのバス運行

＜住宅＞

- ・住まい、インフラ整備。
- ・住宅の整備
- ・家賃が高い
- ・宅地の提供
- ・1人で暮らしたい
- ・住宅建築のコストが高い

＜流通＞

- ・航空運賃を現状より引き下げ。往復1万円未満に。
- ・交通運賃の値下げ。便の追加(1日2便)
- ・海上輸送及び航空運賃の低減が必要。
- ・必要な物がない。売っていない(物干竿。ネットで購入)。物価が高い
- ・電化製品等修理やメガネ等の修理。現状：那覇に送っている(技術のある人材も不足)
- ・生活コストの安い環境

＜伝統・文化＞

- ・北大東の歴史の受け継ぎ
- ・沖山昇さんの知識の受け継ぎ
- ・島の歴史の講演会等。知る機会があると良い。
- ・大東太鼓、北曙会を守る。
- ・祭りの存続、保存
- ・昔のつり場(チーチャー)の名前を表示してほしい。

＜医療＞

- ・医療の設備の充実
- ・医療の充実
- ・定期的に専門分野(内科以外)の先生を島に呼ぶ。(以前はあった)
- ・希望としては、日本一健康な村、医療費の安い島(国保税)
- ・健康増進に関する村民の意識の向上(課題)
- ・本島で医療を受けるときの交通費助成
- ・通年島野菜が採れる(健康に繋がる)

＜子育て・教育＞

- ・子育て保育施設を設置(現状は2歳児からなので、0歳児からの対応希望)
- ・子育て中の家庭に対する支援(教育費も含めて)
- ・子供たちの個性を伸ばす教育。音楽芸能等。
- ・島出身の医師や看護師、保健師が必要なので、医療職に向けての人材育成(学校で医師や看護師の講演)

＜自然・環境保全＞

- ・紫外線カット。木陰がほしい
- ・花が咲く樹、街路樹があると良い
- ・星の島北大東(天体観測する所があったらいいな)
- ・星が綺麗で、美人の多い島であることをアピールする
- ・動植物の保護。最近、ダイオウコノハズク(フクロウ)、ヤシガニなど見かけない

＜ゴミ・環境＞

- ・イベント前等、村全体のゴミ拾いを継続して行う。(現在、年3回程度開催)
- ・漂着ゴミが多い
- ・海へのポイ捨て(釣りのゴミ等)

＜娯楽等＞

- ・娯楽、サークル活動等(カラオケサークル。昔は踊りをやっていた)
- ・娯楽等があると、生きがいとなって健康に繋がる
- ・涼しくてゆんたくできる場所がほしい
- ・タクシーが1台くらいあってもよい(飲む時に不便)

将来像のキーワード

- ・星
- ・の輝く
- ・海に囲まれた
- ・最東端の島
- ・島に誇りを、心に夢を
- ・伝統を受け継ぐ
- ・人情の島
- ・すもう
- ・太鼓

上記の問題・課題が全て解決し、また、残したいもの等が適正に全て保全された状態を、参加メンバーの望むべき将来像としてイメージしてもらい、将来像をイメージさせるキーワードを出して頂いた。

将来像

星の輝く 海に囲まれた 最東端の島、 伝統を受け継ぐ人情の島 ～島に誇りを 心に夢を～

住民の役割

＜高齢者・医療＞

- ・定年者でも働ける、ヘルパー資格の取得(実際に働ける人)
- ・体力づくり
- ・医療、介護の人材育成
- ・子供のおやつ作り(今は那覇から派遣)。オバア達に習う。オバア達も一緒に作る

＜ゴミ・環境＞

- ・自分で住宅や畑の近くの環境を良くする。花木を植える
- ・ゴミ拾いボランティアの参加
- ・ポイ捨てを無くす(本人意識)

＜伝統・文化＞

- ・オジイ、オバアの技術や伝統(踊り)を記録する
- ・子供と高齢者の交流
- ・踊りや太鼓等、伝統芸能のDVDを観光客に見せる

住民と行政の協働の役割

＜高齢者・医療＞

- ・ボランティア活動をポイント制にして、そのポイントを使って介護を受けられる
- ・介護、在宅サービスの充実
- ・予防医療の充実
- ・医療、介護の人材育成

＜人材育成・雇用＞

- ・進学支援(大学・専門学校など)
- ・若い人の雇用の場
- ・医療職と現場の接点、魅力を伝える

＜伝統・文化＞

- ・後継者育成(歴史など・・・)
- ・子供と高齢者の交流
- ・踊りや太鼓等、伝統芸能のDVDを観光客に見せる

行政の役割

＜住宅＞

- ・宅地の分譲
- ・住宅建設の補助

＜医療＞

- ・医療器具設備の充実

＜人材育成＞

- ・資格取得の支援
- ・人材育成のための、講師の派遣
- ・専門学校等進学の際の金銭的な支援。島に帰る事が条件。(医者・看護師・保健師等)将来島へ帰って、仕事出来る・・・?
- ・リハビリ、介護支援。理学療法士など

＜自然環境＞

- ・防風林の充実。苗木の配布(ハイビスカスなど)

しごと・おすびチーム ■問題・課題又は残したいもの

<子育て>

- ・子供が増える(世帯)環境ではない

<住>

- ・アパートがない

<物価>

- ・物価が高い(2人)

<人口>

- ・人口不足
- ・若者の不足
- ・若い女性不足

<畜産>

- ・畜産の振興。牛、豚をグループ経営方式でできないか

<農業>

- ・農業での安定収入が出来れば良い
- ・さとうきび等の収入の不安
- ・さとうきびの増産
- ・農業の振興
- ・農業専業で取り組むには、耕地面積が少ない

<職>

- ・水産業→後継者不足(絶対的に)。漁港完成後の漁船の大型化。操船できるか?
- ・農業→若者は増えつつあるが、農業になじまない。(手伝いをしない)
- ・働く職場が限られている
- ・企業→後継者不足。技術者不足(島内で)

<観光>

- ・リピーターが少ない(全くいないわけではないが…)
- ・お土産が少ない
- ・観光する所が少ない
- ・燐鉱石貯蔵庫跡を保存したい
- ・燐鉱採掘現場を整備して、観光地にしたい(2人)
- ・特産品加工所がない
- ・レジャーがない
- ・道路の案内板が少ない

■将来像のキーワード

- ・にぎやかで
- ・ゆとりあふれる
- ・快適
- ・活気
- ・豊島、安住な島
- ・安定
- ・フロンティアスピリット
- ・リピーター

上記の問題・課題が全て解決し、また、残したいもの等が適正に全て保全された状態を、参加メンバーの望むべき将来像としてイメージしてもらい、将来像をイメージさせるキーワードを出して頂いた。

将来像

にぎやかで ゆとりあふれる 快適な島 フロンティアスピリット

住民の役割

- ・月桃などを使用したケーキ&クッキー作りを、コーヒーショップなどで味わえたらいいと思います。
- ・ブランドのお酒造りを、本格的に取り組んでみる(海外に売り込む等)
- ・岡山の実家に、採れたてで美味しいサワラを送りたいです(好評でした)
- ・採れたてのサトウキビで、手作りの黒糖が作れたらいいな(お酒も)。パウンドケーキも→特産品
- ・村営住宅だけではなく、民間のアパート等は作れないか
- ・自分で値段が決められる、手作り市を作ってみる(野菜・味噌・お惣菜・パン・お菓子・苗・花・etc.)
- ・ホエールウォッチングができればいいな
- ・星空観望会を(専門家を呼んで)開催する
- ・昆虫博士を呼ぶ。博物館を作る(特に蝶やバッタ等)
- ・若い人達でも働きやすい環境をつくる
- ・NHKの“とびだせキッチン”に依頼し、北大東のジャガイモやかぼちゃ料理を使ったフルコースを作って紹介
- ・野菜ソムリエか野菜パティシエを呼んで、教室やお店を作る
- ・プロの写真家やドラマ映画等で、北大東の綺麗な風景を全国的に紹介してほしいです(灯台やのぼり坂)
- ・北大東でスキューバダイビング免許が取得できるという(中級以上)海に潜ってみたいです

住民と行政の協働の役割

- ・台風に強いハウスを作り、年中野菜が収穫出来るとよい(グループ経営)
- ・他の農作物が作れない
- ・雇用場所の創出
- ・環境保全
- ・島の行事を大事にする。守る
- ・島の中に『大学』みたいな色々な世代の方が、勉強と資格も取れる機関ができればいいなと思います。
- ・特産品が作れる加工所

行政の役割

- ・島が一望できる展望台があると良い
- ・燐鉱石貯蔵庫の復元
- ・燐鉱石貯蔵庫跡の整備
- ・医療機関の充実(確保)
- ・住宅の確保
- ・空地进行開拓し、村営住宅を増やして欲しい
- ・村有地らしき土地を、区画整備して商店街等を建て個人に貸してはどうでしょうか?飲食店・整骨院・薬局等
- ・移動コスト低減
- ・墓の設計が10年後、20年後も今の状態のままでいいのかと思います。時代とともに設計の方も考えていいと思います。

3. 審議委員会

(1) 総合計画策定要綱

北大東村総合計画策定要綱

1. 計画の趣旨

総合計画の策定は、「地域における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想を定め、これに即して行うようにしなければならない。」との「基本構想」策定の規定に基づくものである。

今回の北大東村総合計画においては、わが国の新しい国づくりの動向を踏まえ、これからの「沖縄振興計画（国）」「沖縄 21 世紀ビジョン（県）」などを視野に入れながら、「道州制」問題をはじめとする広域的な自治体運営の動向、さらに少子高齢社会、環境重視型社会、高度情報化社会等々のむらづくりをめぐる新しい潮流を見極めることが重要である。策定に際しては、主権者である住民の意向を十分に反映できるような住民参加の制度設計の基に、基本的施策を体型的に再構築するとともに、これらの施策が有機的かつ効果的に作用し合うような総合行政をめざし、村づくりの地域課題を総合的に捉えて将来に向けた北大東村の行財政運営の指針となる総合的なむらづくり計画の策定に取り組むものである。

2. 総合計画の名称等

(1) 名称

北大東村総合計画

(2) 構成

この計画は、「基本構想」「基本計画」をもって構成する。

(ア) 基本構想

本村の将来像を描き出し、地域づくりの基本理念と目標を定めるとともに、これを実現するための必要な大綱を明らかにする。

(イ) 基本計画

基本構想に描かれた将来像及び目標を具体化するための基本的施策や手段などを総合的、体系的に組み立てるものである。

(3) 計画の期間

基本構想は、2012 年度（平成 24 年度）を初年度とし、2021 年（平成 33 年度）を目標年度とする。基本計画は前期 5 年、後期 5 年ごとにローリングする。

3. 策定の基本方針

(1)総合性の確保

各分野が一体となって総合的に行政効果が発揮できる計画の策定をめざして、施策相互間の関連性や有機的な連携を図る。

(2)実行性の確保

財政健全化計画など現行の行財政運営における方針を踏まえ、無駄のない経費で最大の効果を挙げることをめざす。

(3)広域的な関連諸計画との関係

本村にかかわる広域的な諸計画との関係を考慮し策定する。

(4)地域特性の反映

本村の持つ自然的諸条件、歴史的条件及び社会的条件等を配慮し、その特性をいかした計画とする。

(5)住民参加の促進

自治の本旨に則り、むらの将来を左右する本計画の策定において、自治の主権者としての住民が計画策定に広く関われるように、住民参加の手法を取り入れる。

(6)住民との情報の共有

計画策定の段階から住民にとって解りやすい情報の提供を心がけ、前項の住民参加の促進にもつなげる。

(7)創造性ある計画づくり

基本構想は、住民総意に基づいたむらづくりの将来像であり、村民が将来にわたって住み続けたいと願う、創造性豊かな計画を策定する。

(8)職員参加の促進

職員も住民の一人であり、また、むらづくりの専門スタッフである。これからの総合行政に向けて各部門の実効性ある計画づくりを、住民と共に考え策定することで、今後のよりよい行財政運営へつなげることができる。そのために住民参加と同様に職員参加の推進も図り、役場内で横断的に取り組んでいく。

4. 策定の手順

(1)住民参加

- (ア) 村民の代表及び知識経験者で構成する北大東村総合計画審議委員会に基本構想原案を諮問し、答申を得る。
- (イ) 基本構想原案の策定については、むらづくり村民会議（仮称）を設置し、住民参加のもとで行う。
- (ウ) 策定過程の情報を様々な形態で公開し、さらに講演会やむらづくりフォーラムなどの開催によって住民参加を促し、幅広い住民の声を反映させる。
- (エ) 村民アンケート並びに住民団体へのヒヤリングを実施する。

(2)職員参加

- (ア) 北大東村総合計画策定庁内検討会議（委員長を副村長、課長級職員等で構成）を設置し、専門研究機関の指導と助言を得ながら基本構想原案を作成するとともに、前期基本計画案（平成 24 年度～平成 28 年度）を作成する。
- (イ) むらづくり村民会議（仮称）の一員として住民との協働（班編成毎）により基本構想に盛り込むむらづくりの要件を設定する。
- (ウ) 総合計画策定についての研修機会や意見交換の場を設定する。

5. 計画の対象地区

計画の対象地区は、北大東村全域とする。ただし、必要なものについては、広域的な配慮を行うものとする。

6. その他

この要綱に定めるもののほか、計画策定に必要な事項は別に定める。

(2) 委員名簿

氏 名	所 属	備 考
鬼塚 三典	副村長	委員長
末吉 勝助	字港自治会長	
沖山 久代	字中野自治会長	
大澤 芳郎	字南自治会長	
上間 正巳	村議会議員 議長	
浅沼 義功	株式会社 与儀組 代表取締役社長	
城間 ゆう子	JAおきなわ 北大東支店 支店長(平成 23 年時点)	第 1 回審議委員会 参加
與座 正治	JA おきなわ 北大東支店 支店長	第 2 回審議委員会 以降参加
大城 リエ子	観光業（株式会社 フロンティアプラネット）	
知花 実	漁業組合	
須貝 沢美	宿泊業（ハマユウ荘）	

4. 未来シナリオについて

北大東村総合計画基本構想 p.11～13 で示した「3つの未来シナリオ」における活動別純生産額及び人口フレームの考え方を下記の通り示します。

(1) 活動別純生産額算出の考え方

実態のデータをもとに、産業活動別の展開方策による純生産額の増減を想定し算出します。

■活動別純生産額算出の考え方

シナリオ 産業	①受身	②維持	③開拓
	公共事業の半減に対して、新たな雇用創出のための対策を特に講じず、生活の負担軽減策も現状のままの場合	公共事業の半減に対して、減少分を埋めるための対策を実施し、生活の負担軽減策を実施した場合	公共事業の半減を克服し、現状に対して2から3割の人口増を目指した振興策を展開し、生活の負担軽減のための施策を大胆に実施した場合
農業	現状と同等(増減無し)	さとうきびの年間2.5万tの目標値を安定的に確保するために地力増進などの生産向上のための取組を徹底的に実施し、現状の約1.5倍増	さとうきびの生産向上と併せて、付加価値の高い品目による複合型の農業を展開し、現状の約2.5倍増
水産業	漁港の開港を受けて現状の約5倍増	漁港の開港に伴う支援を行うことで現状の約10倍増	漁港の開港を受けて水産業の支援を強めて現状の約25倍増
建設業	公共事業減のため半減	公共事業減のため半減	公共事業減のため半減
製造業	現状と同等(増減無し)	特産品の販売・観光振興等により増加	農業・水産業の発展に伴い更なる特産品の販売・観光振興等が進み現状の約2倍増
卸小売業	現状と同等(増減無し)	特産品の販売・観光振興等により増加	農業・水産業の発展に伴い更なる特産品の販売・観光振興等が進み現状の約2.4倍増
運輸通信	現状と同等(増減無し)	現状と同等(増減無し)	人口及び交流人口が増えることにより現状の約1.5倍増
電気ガス	現状と同等(増減無し)	現状と同等(増減無し)	人口及び交流人口が増えることにより現状の約1割増
サービス	現状と同等(増減無し)	特産品の販売・観光振興等により現状の約1割増	人口及び交流人口が増えることにより現状の約1.3倍増
公務	現状と同等(増減無し)	現状と同等(増減無し)	現状と同等(増減無し)

(2) 人口フレーム算出の考え方

人口フレームについては、産業活動別の純生産額の変動に応じて就業者数が変動し、更に、就業者数の変動に応じて人口が変動するものとして算出する。

■活動別就業者数及び純生産額(現状)、1人当たり純生産額											(単位:人、百万円)		
	農業	水産業	建設業	製造業	卸小売業	運輸通信	電気ガス	サービス	公務	合計			
①就業者数	70	5	40	30	15	20	5	100	45	330			
②純生産	470	10	1,400	300	50	40	90	290	490	3,140			
③1人当たり純生産(②÷①)	6.7	2.0	35.0	10.0	3.3	2.0	18.0	2.9	10.9				
■就業者数(現状)に対する世帯数(現状)の割合													
④世帯数(世帯)	240												
⑤世帯数÷就業者数	72.7%										※受身、維持、開拓の世帯数算出の際の係数とする。		
■活動別・シナリオ別就業者数及び純生産額の推計													
(単位:人、百万円)													
	農業	水産業	建設業	製造業	卸小売業	運輸通信	電気ガス	サービス	公務	合計			
⑥就業者数 (人)	現状	70	5	40	30	15	20	5	100	45	330		
	受身※1	63	10	20	27	14	20	5	85	45	289		
	維持※1	74	15	20	26	17	20	5	88	45	310		
	開拓※1	86	25	20	42	25	20	5	98	45	367		
⑦純生産 (百万円)	現状	470	10	1,400	300	50	40	90	290	490	3,140		
	受身	470	50	700	300	50	40	90	290	490	2,480		
	維持	710	100	700	330	70	40	90	320	490	2,850		
	開拓	1,160	250	700	600	120	60	100	380	490	3,860		
※1 就業者数の推計の考え方													
○受身シナリオ													
	農業	水産業	建設業	製造業	卸小売業	運輸通信	電気ガス	サービス	公務	計			
⑧1人当たり純生産(現状) ⑦÷⑥	6.7	2.0	35.0	10.0	3.3	2.0	18.0	2.9	10.9				
⑨就業者数(単純試算) ⑧÷⑦受	70	25	20	30	15	20	5	100	45				
⑩必要人員率 ※2	90%	40%	100%	90%	90%	100%	100%	85%	100%				
⑪就業者数(推計) ⑨×⑩	63	10	20	27	14	20	5	85	45	289			
										≒290			
											■人口推計 (単位:世帯、人)		
											世帯数※3 ⑪計×⑤	世帯人員※4 (現状)	総人口 ※5
											210	2.20	461.6
											≒290	≒210	≒460
○維持シナリオ													
	農業	水産業	建設業	製造業	卸小売業	運輸通信	電気ガス	サービス	公務	計			
⑫1人当たり純生産(現状) ⑦÷⑥	6.7	2.0	35.0	10.0	3.3	2.0	18.0	2.9	10.9				
⑬就業者数(単純試算) ⑫÷⑦維	106	50	20	33	21	20	5	110	45				
⑭必要人員率 ※2	70%	30%	100%	80%	80%	100%	100%	80%	100%				
⑮就業者数(推計) ⑬×⑭	74	15	20	26	17	20	5	88	45	310			
										≒310			
											■人口推計 (単位:世帯、人)		
											世帯数※3 ⑮計×⑤	世帯人員※4 (現状+0.1)	総人口 ※5
											226	2.30	519.4
											≒310	≒230	≒520
○開拓シナリオ													
	農業	水産業	建設業	製造業	卸小売業	運輸通信	電気ガス	サービス	公務	計			
⑯1人当たり純生産(現状) ⑦÷⑥	6.7	2.0	35.0	10.0	3.3	2.0	18.0	2.9	10.9				
⑰就業者数(単純試算) ⑯÷⑦開	173	125	20	60	36	30	6	131	45				
⑱必要人員率 ※2	50%	20%	100%	70%	70%	67%	90%	75%	100%				
⑲就業者数(推計) ⑰×⑱	86	25	20	42	25	20	5	98	45	367			
										≒370			
											■人口推計 (単位:世帯、人)		
											世帯数※3 ⑲計×⑤	世帯人員※4 (県平均)	総人口 ※5
											267	2.48	661.9
											≒370	≒270	≒660
※2 就業者数は純生産の増加に応じて増えることを前提とするが、作業効率の向上や機械化等により人員軽減も想定されるため、活動別に必要人員率を設定する													
※3 受身、維持、開拓シナリオの世帯数については、算出した就業者数(⑪⑬⑰)に⑤を乗じて算出 (推計就業者数×(現状世帯数÷現状就業者数))													
※4 想定する世帯人員については、受身の場合は現状、維持の場合は生活負担の軽減策で0.1人増、開拓の場合は、県平均並みまで引き上げる。													
※5 総人口は、推計した世帯数に世帯人員を乗じて算出する。													

本総合計画の策定は、北大東村から中部大学への委託研究（研究者：服部敦）及び株式会社国建への策定委託業務の成果に基づいています。主な担当者は次のとおり。

中部大学：服部敦（工学部都市建設工学科教授）

株式会社国建 まちづくり計画部：内間 寛、舟越 義人、照屋 南

イラスト作成：山中大輔

北大東村総合計画 2012-21

2012 年 11 月

北大東村

〒901-3992 北大東村字中野 218 番地

TEL:(09802)3-4001

FAX:(09802)3-4406
